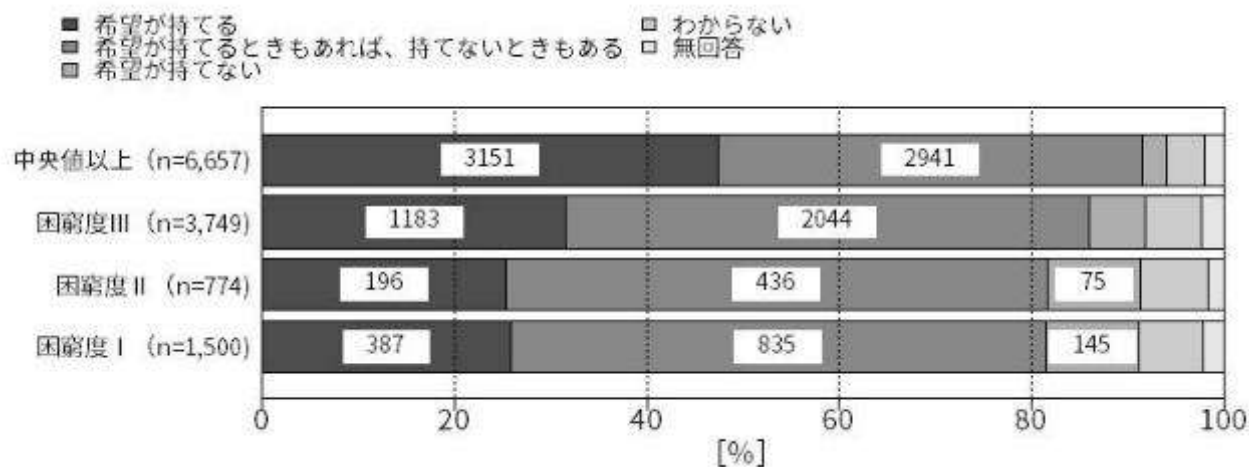


困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 36-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

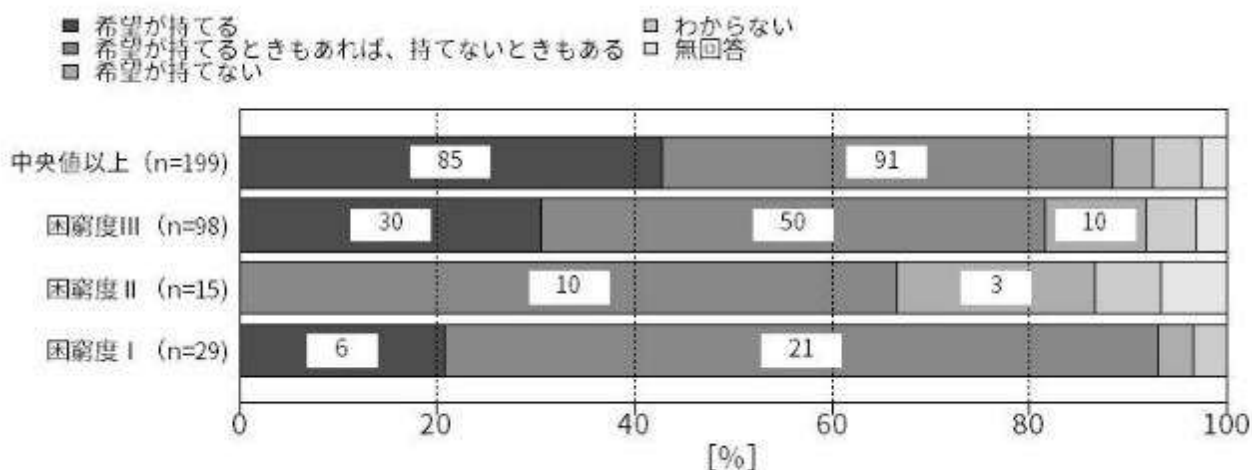


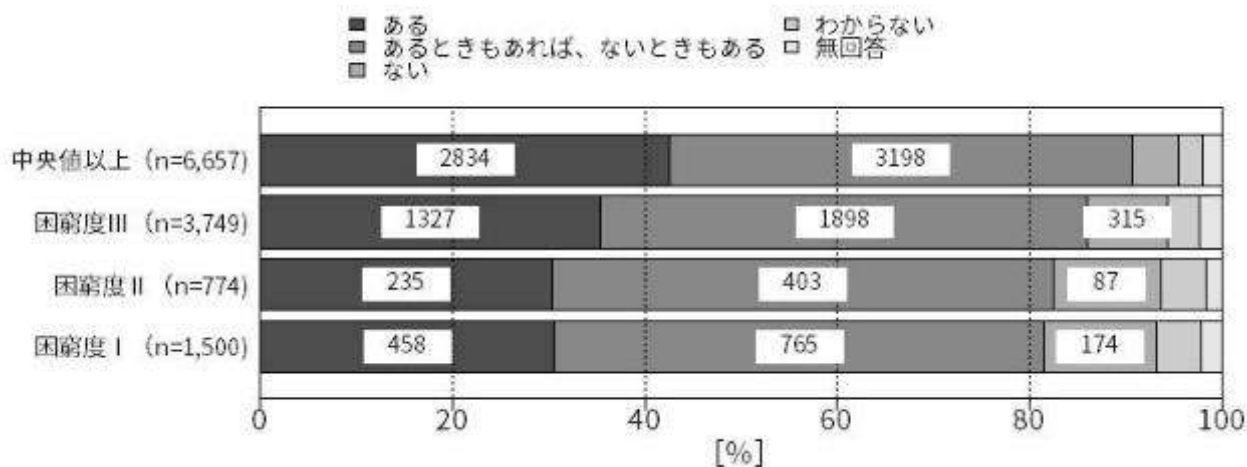
図 140. 困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が厳しくなるにしたがって、「希望が持てる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 20.7%であった。

困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 36-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

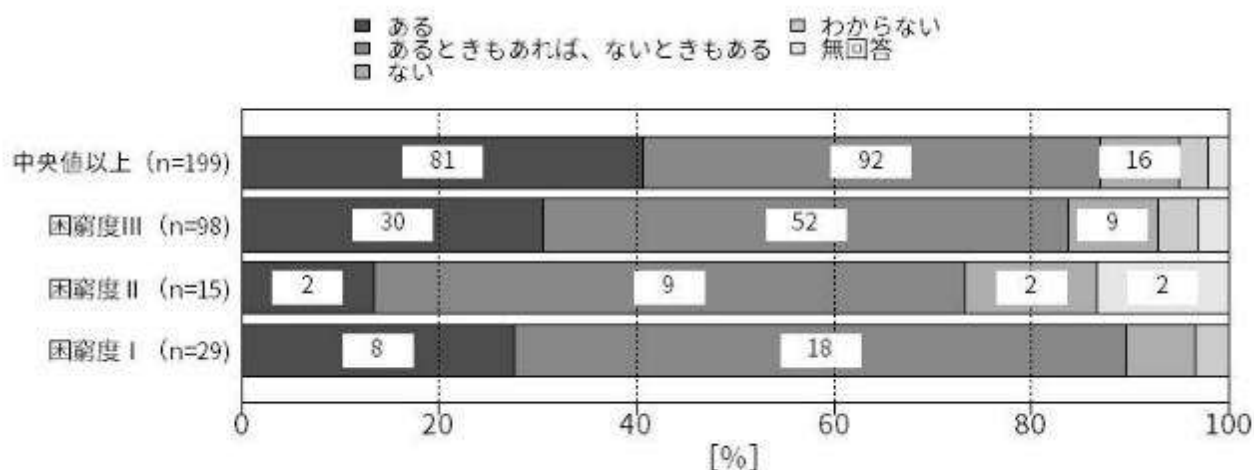


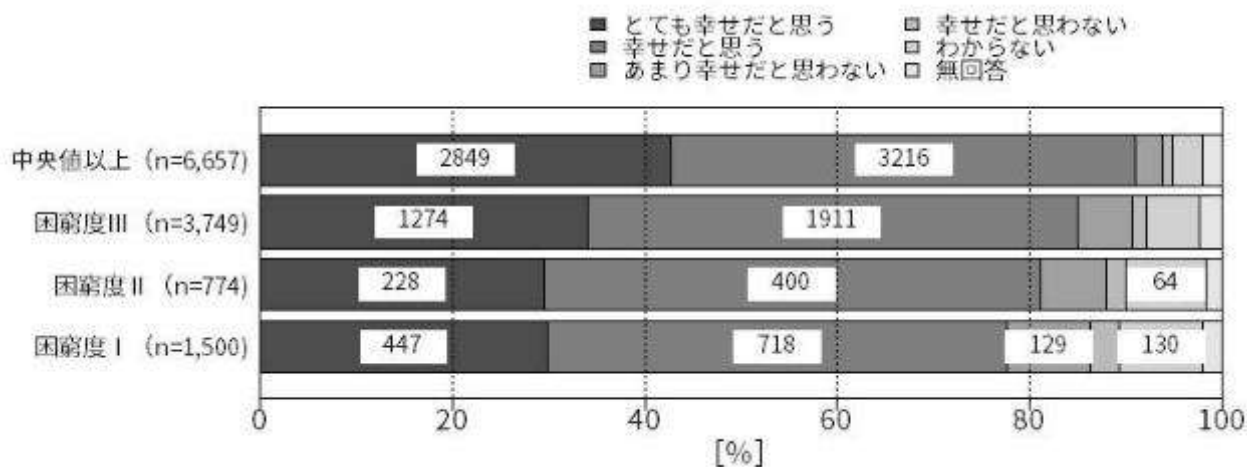
図 141. 困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が厳しくなるにしたがって、ストレス発散できるものが「ある」と回答した割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 27.6%であった。

困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 36-4）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

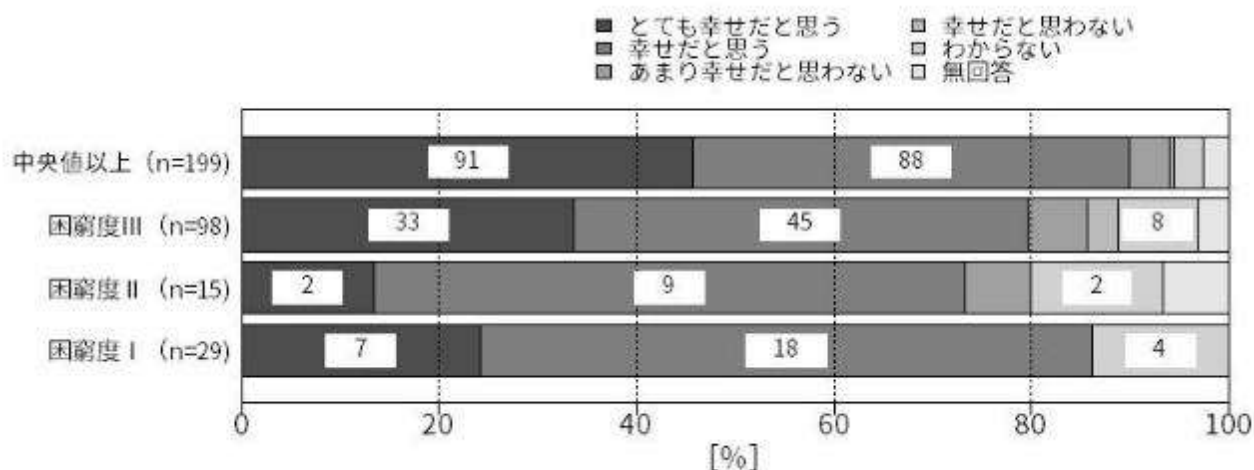


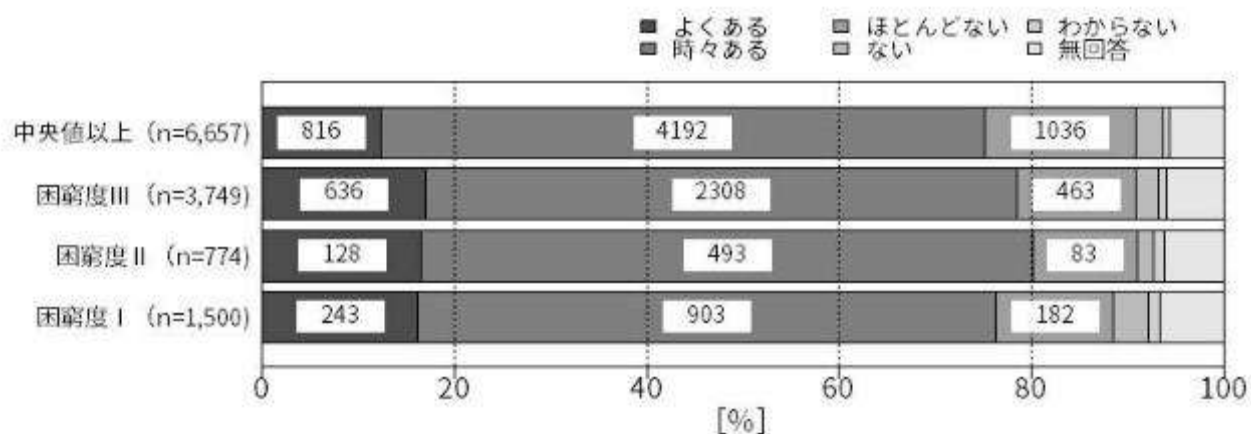
図 142. 困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても幸せだと思う」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 24.1%であった。

困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度（問 38）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

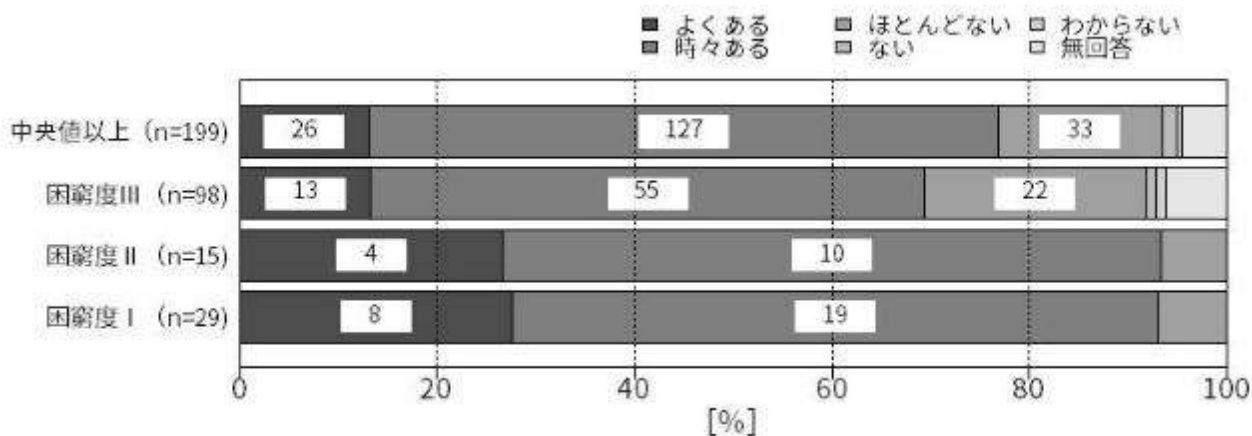


図 143. 困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度

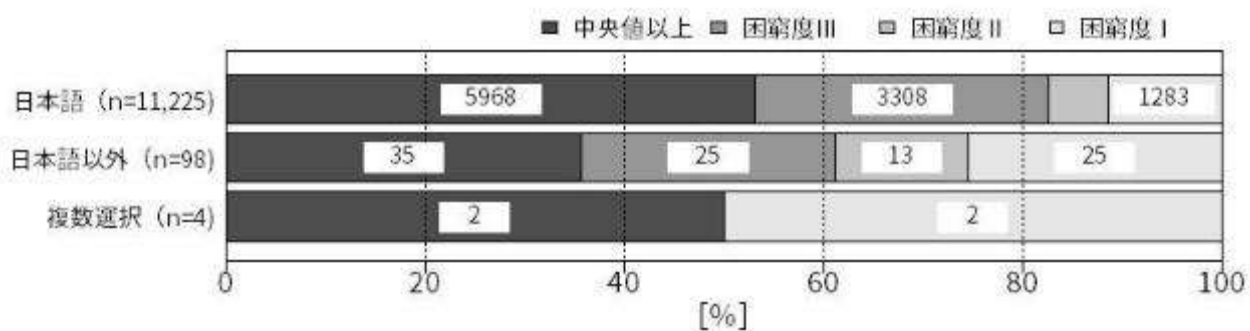
困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

中央値以上群に比べ他の群では不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことが「よくある」と回答した割合が高くなる傾向にあった。中央値以上群では 17.9%、困窮度Ⅰ群では 12.5%であった。

3－4. 家庭生活・学習

母国語別に見た困窮度分類（問 2）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

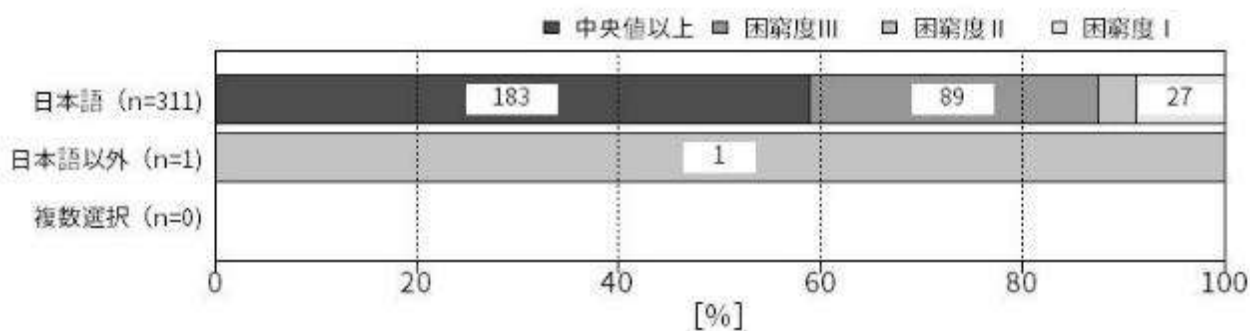
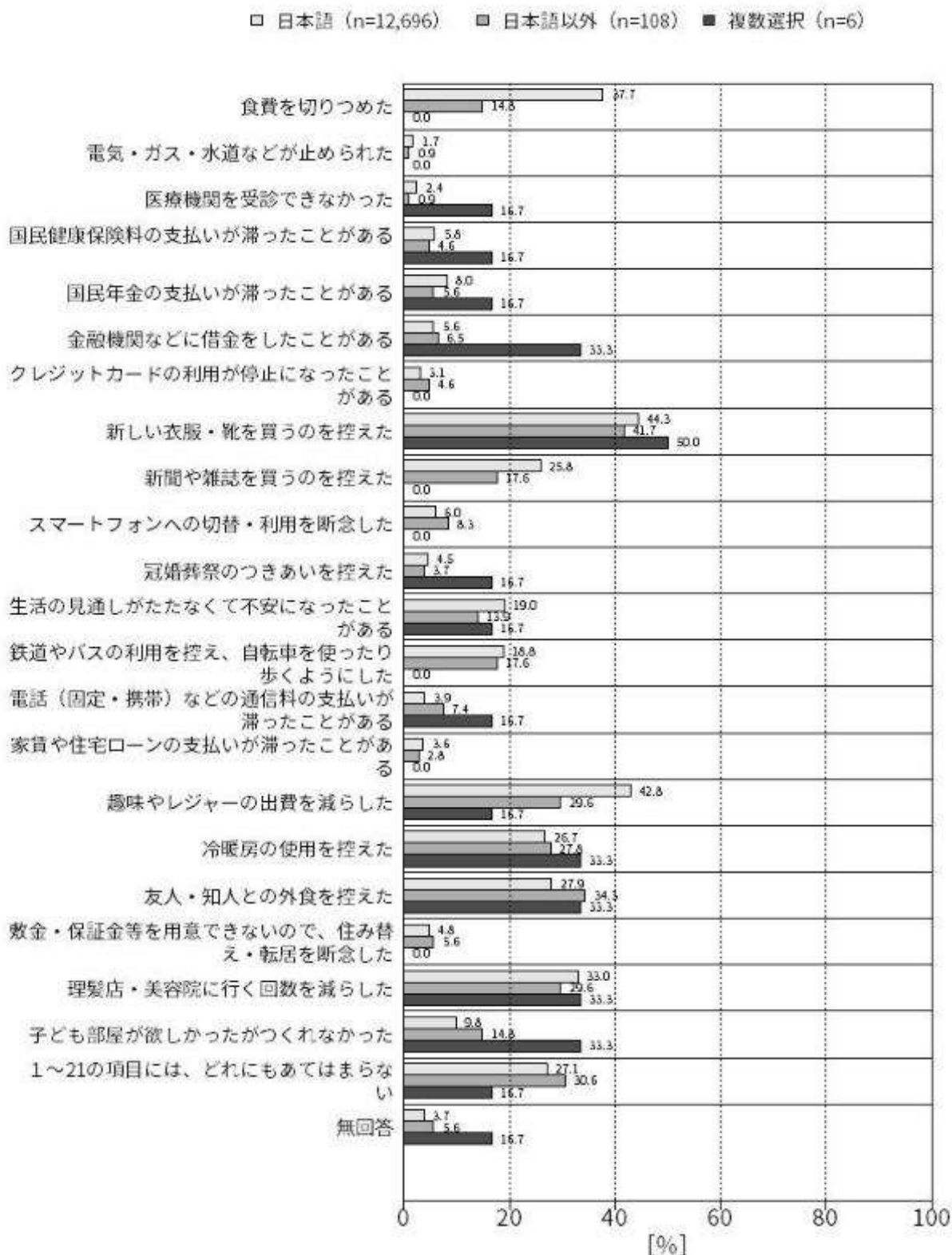


図 144. 母国語別に見た困窮度分類

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと（問2×問6）

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

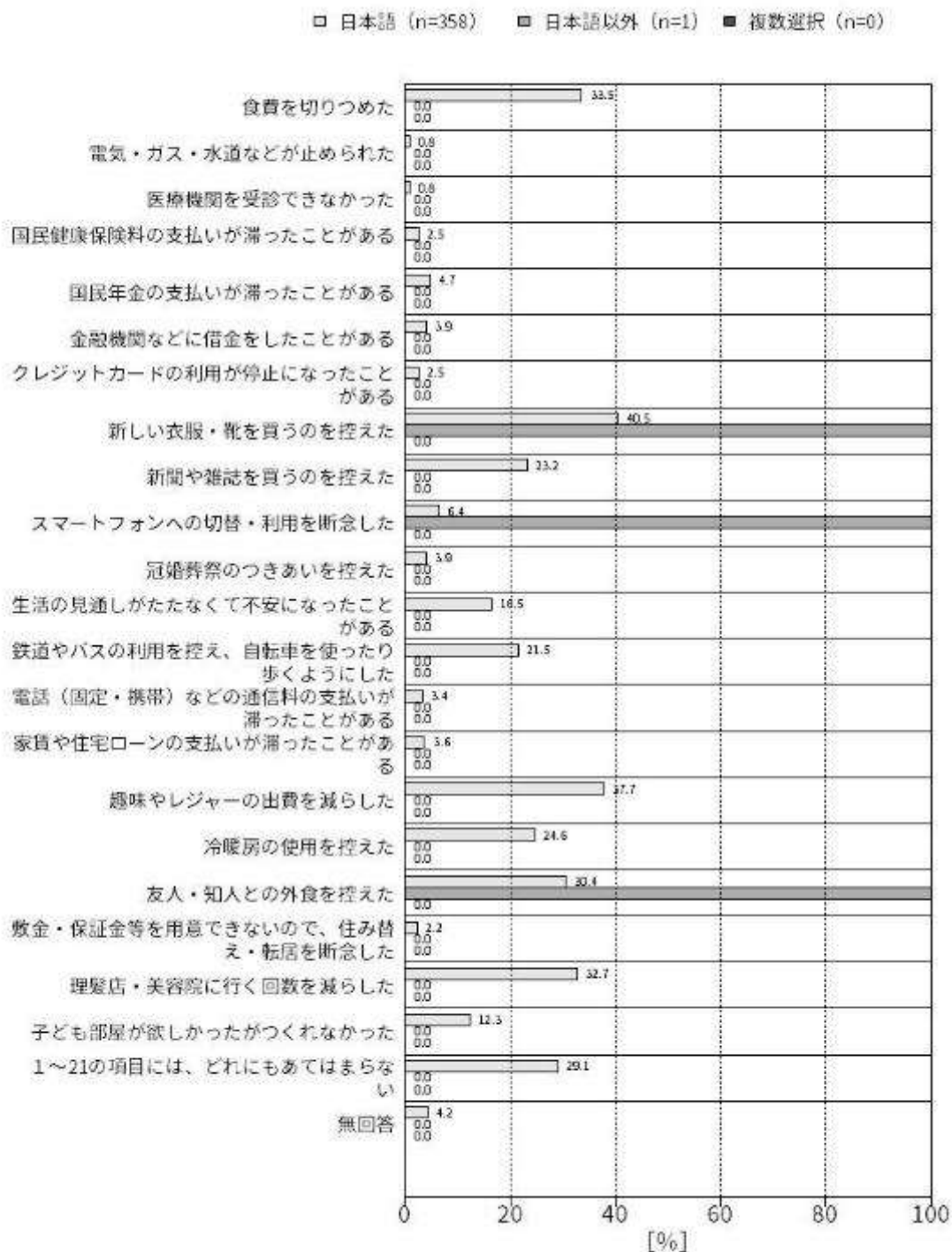
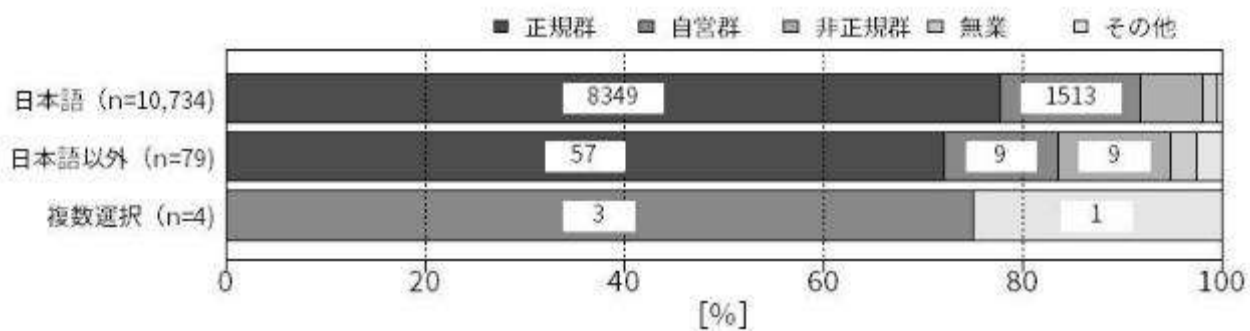


図 145. 母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た就労状況（問2×問8）

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

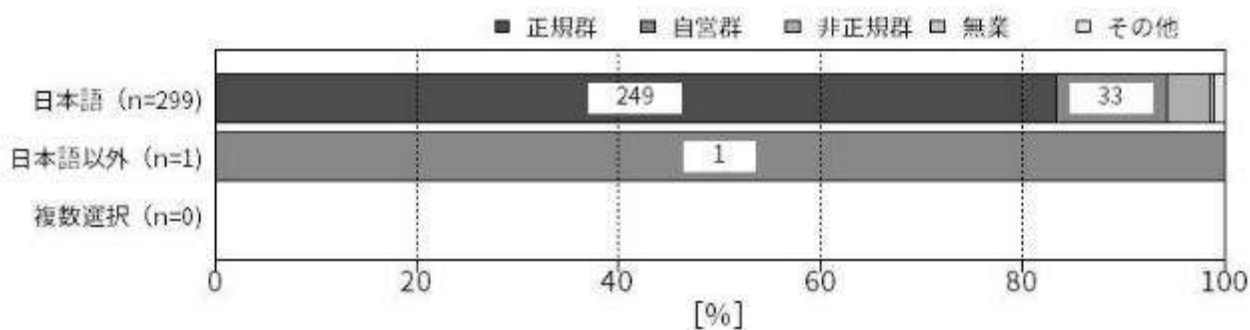
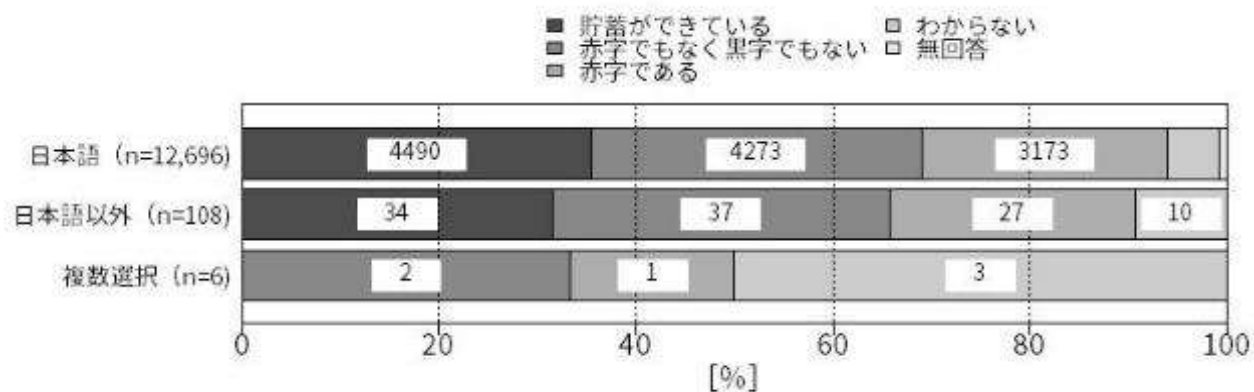


図 146. 母国語別に見た就労状況

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、家計状況（問2×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

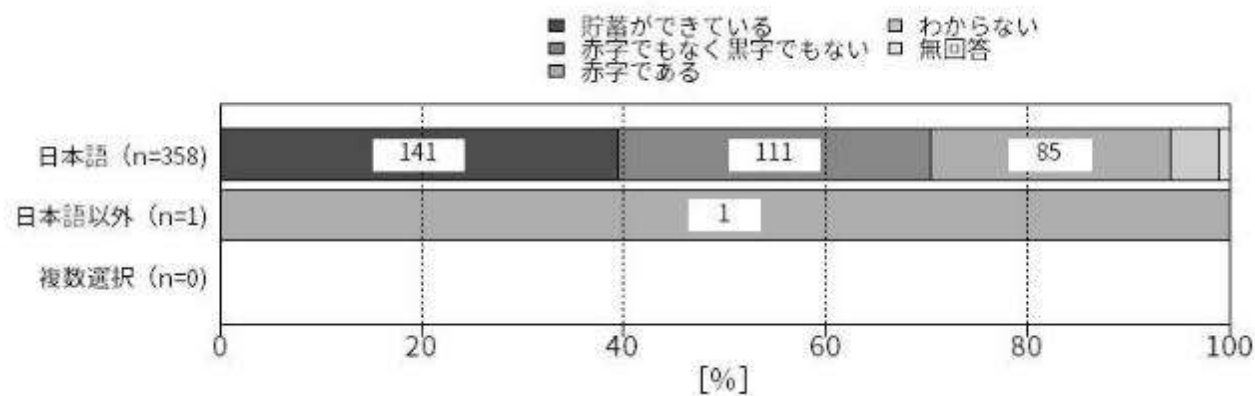
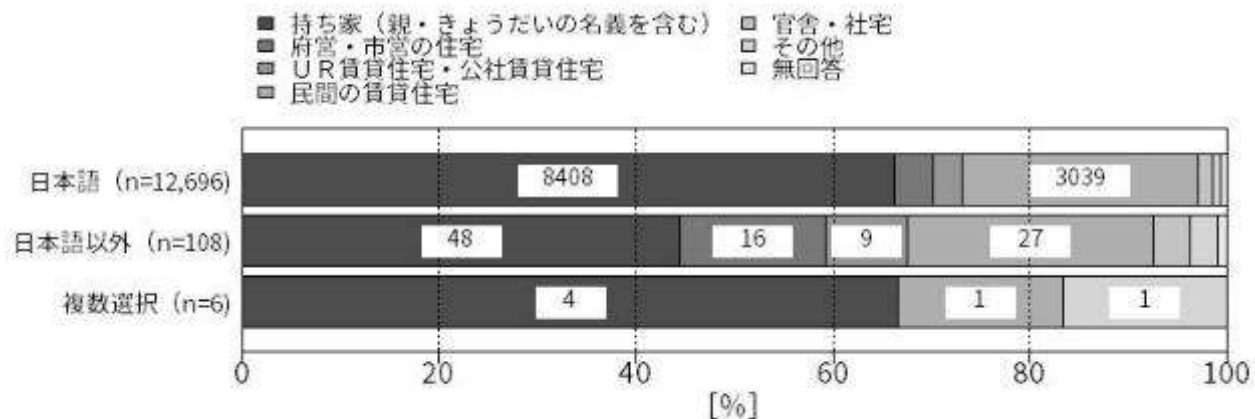


図 147. 母国語別に見た、家計状況

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、住居（問2×問4）

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

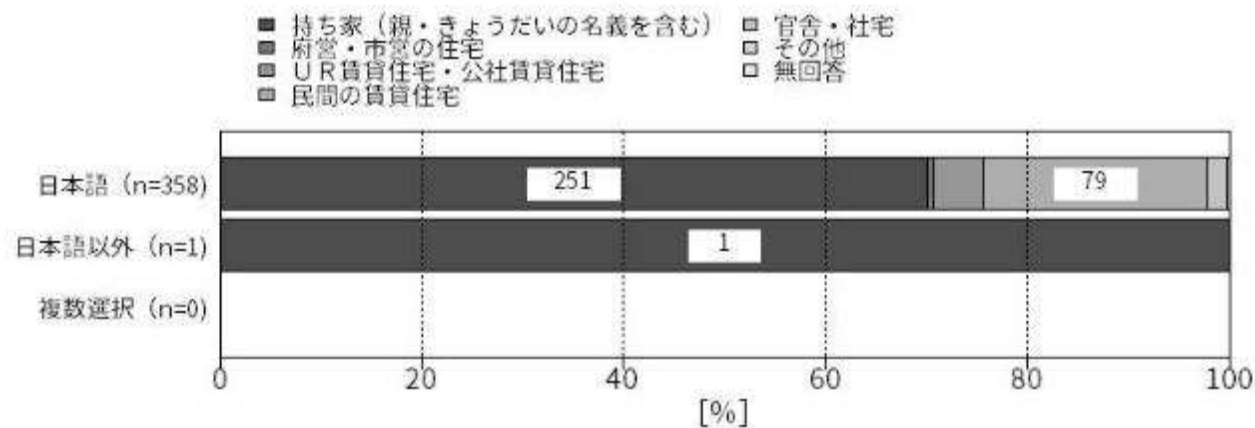


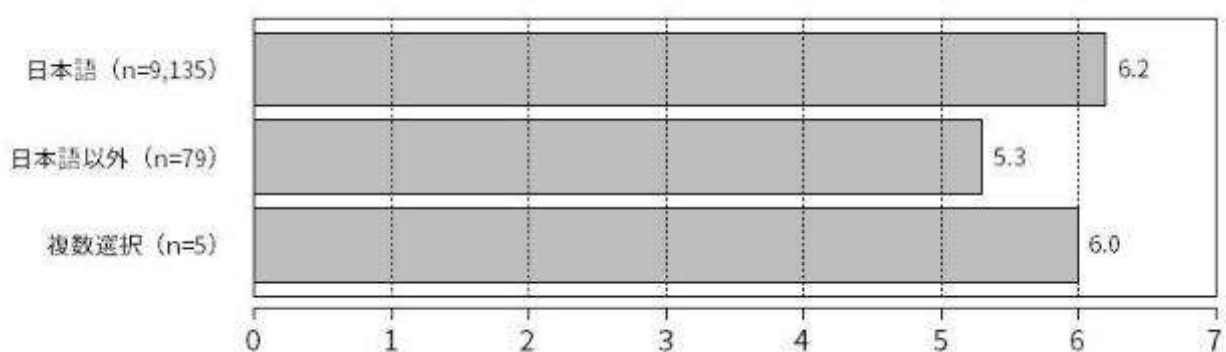
図 148. 母国語別に見た、住居

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均（問2×問34）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の7項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を0点、「いる」を1点とし、7項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

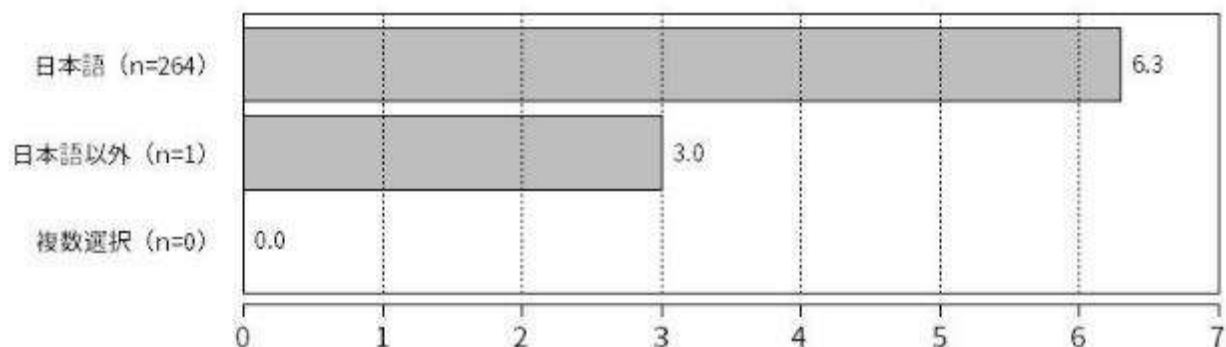
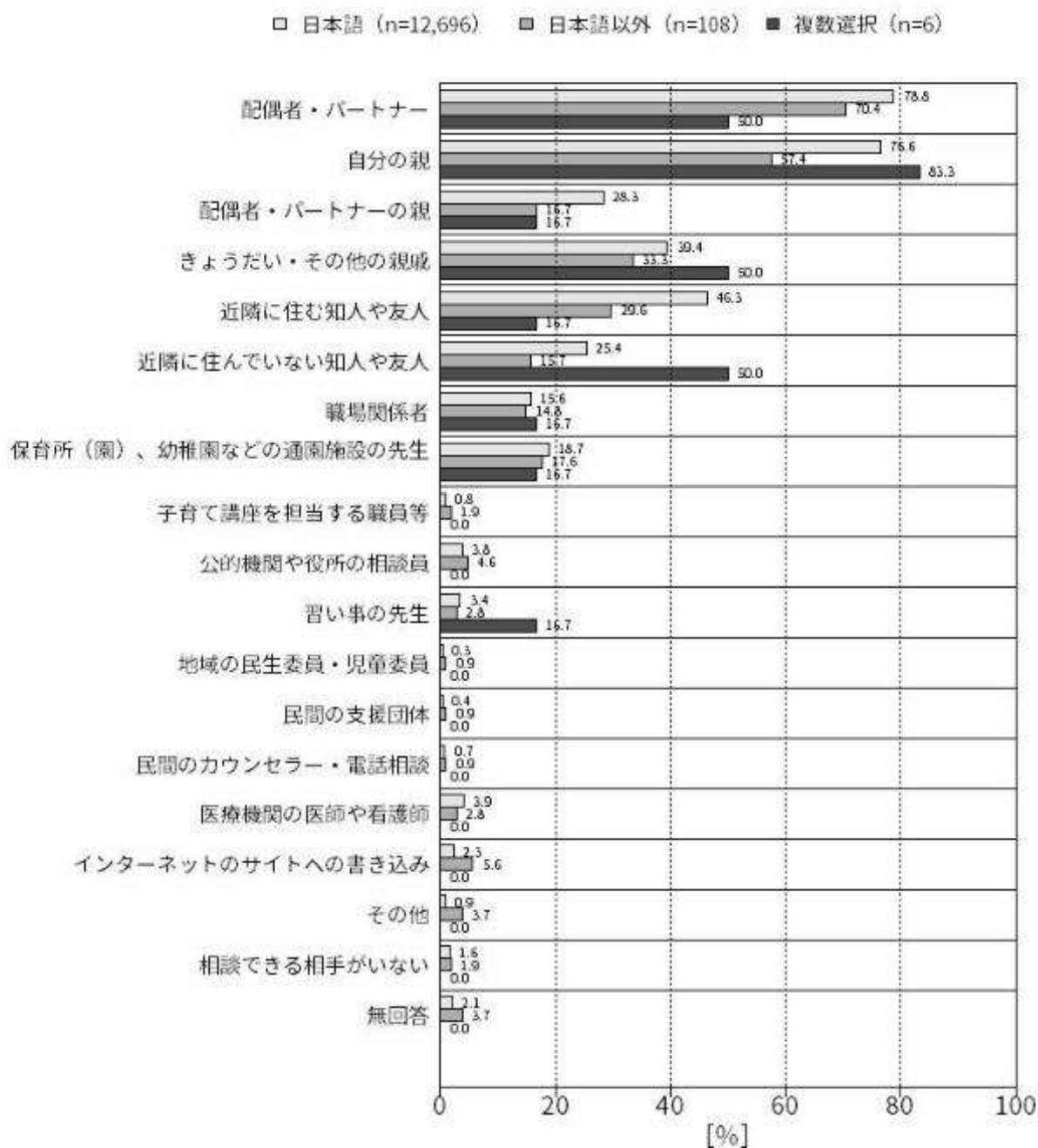


図 149. 母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、相談相手（問2×問35）

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

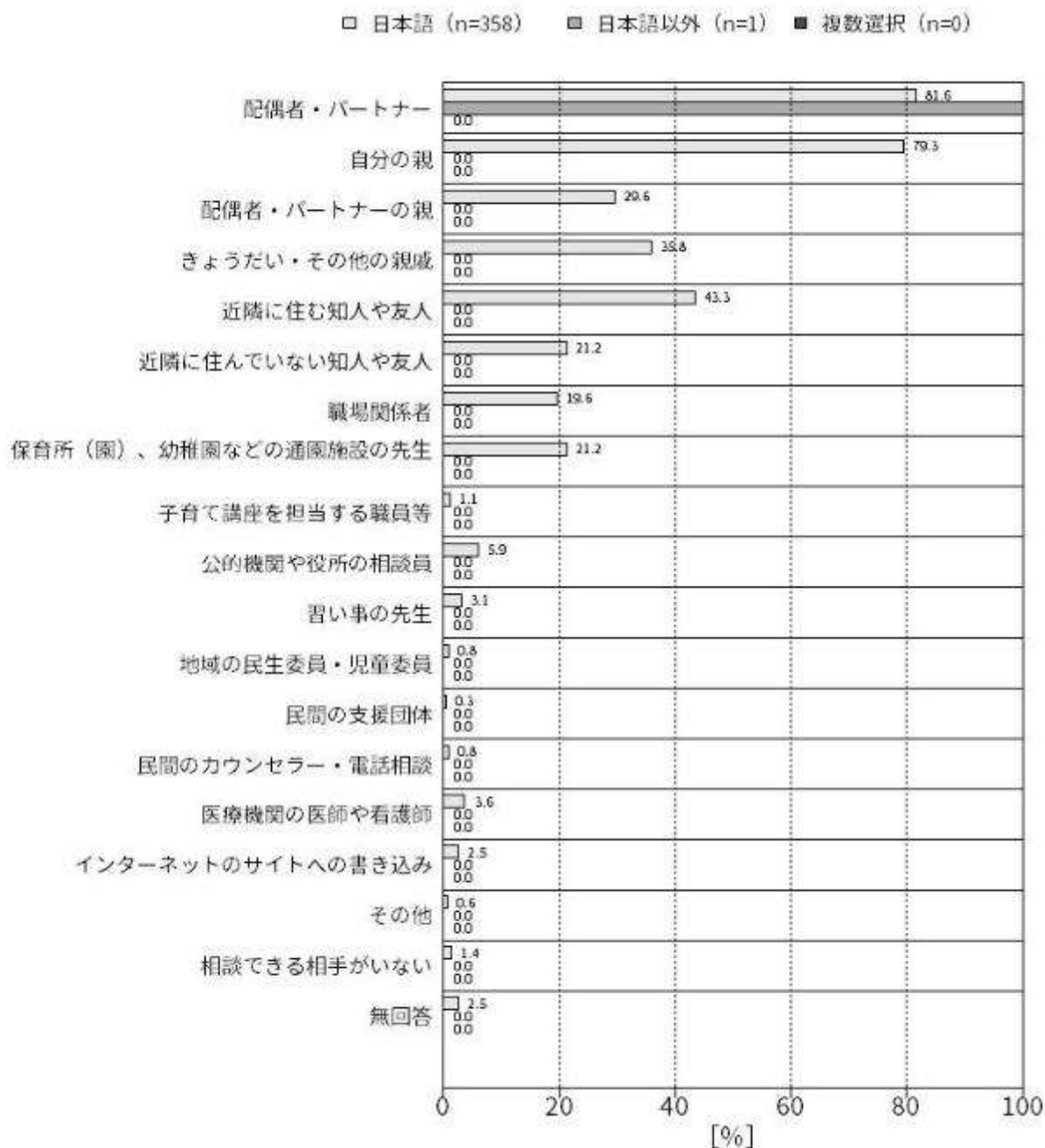
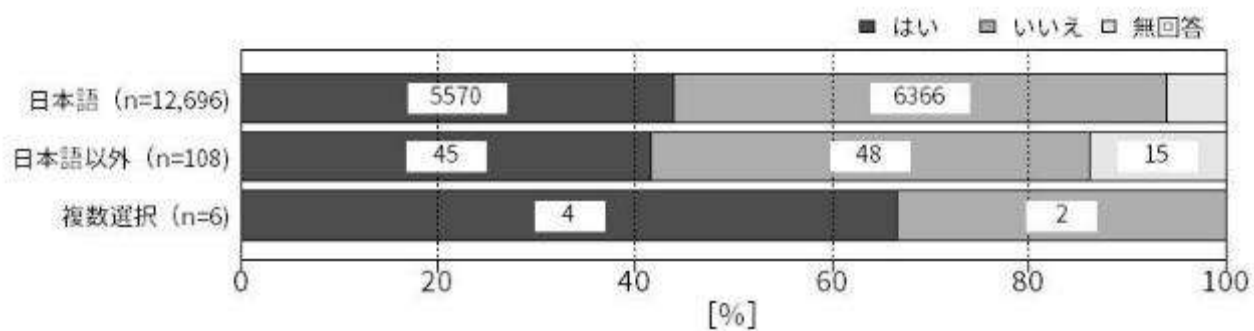


図 150. 母国語別に見た、相談相手

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、回答者の健康診断受診の有無（問 2 × 問 39）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

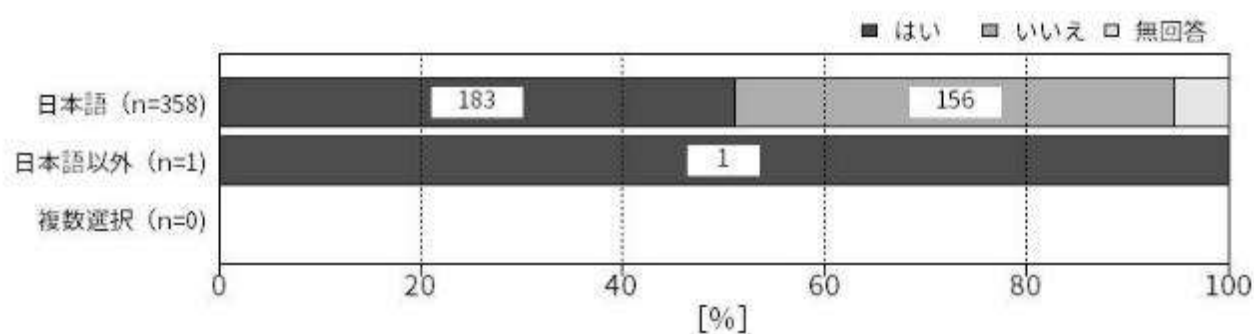
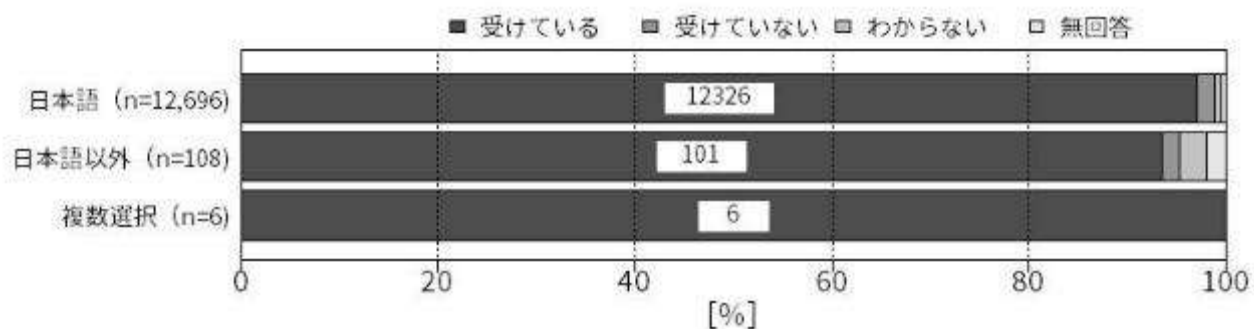


図 151. 母国語別に見た、回答者の健康診断受診の有無

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、予防接種（麻しん・風しん混合ワクチン）受診の有無（問 2×問 27）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

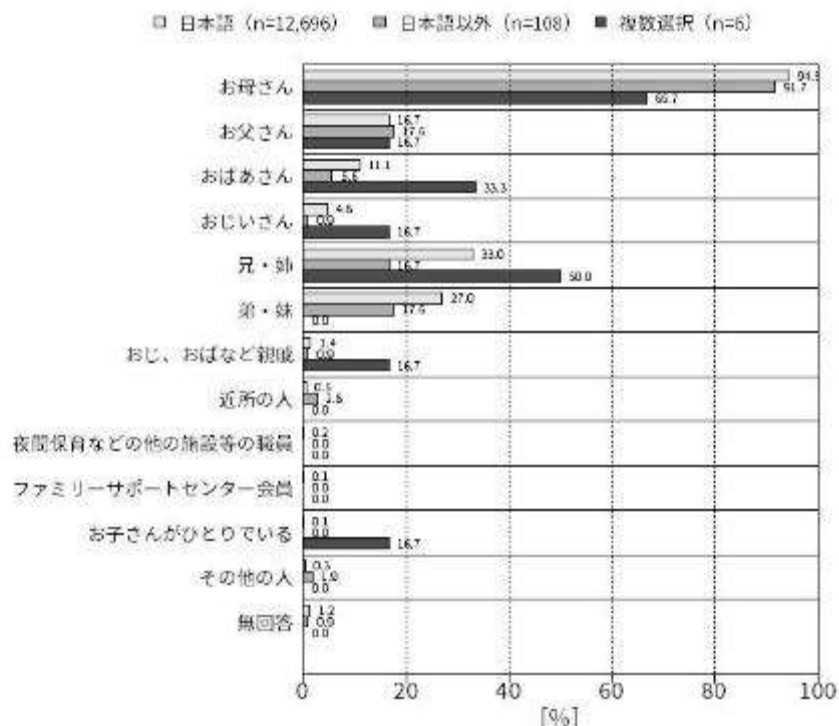


図 152. 母国語別に見た、予防接種（麻しん・風しん混合ワクチン）受診の有無

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。日本語を母語とする群において、「受けていない」という回答が見られた。

母国語別に見た、子と過ごす人（問 2×問 10）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

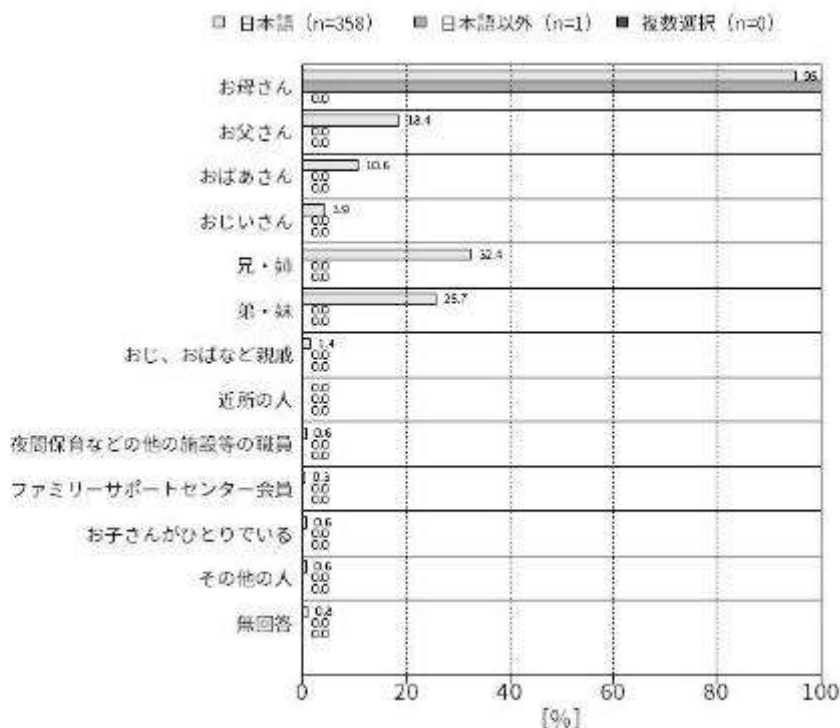
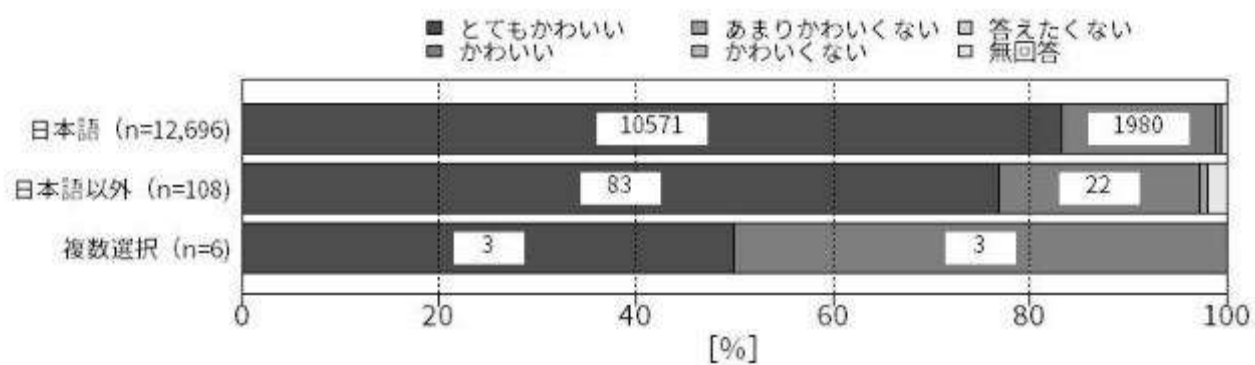


図 153. 母国語別に見た、子と過ごす人

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。いずれも「お母さん」が多くなっている。

母国語別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問２×問３１-１）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

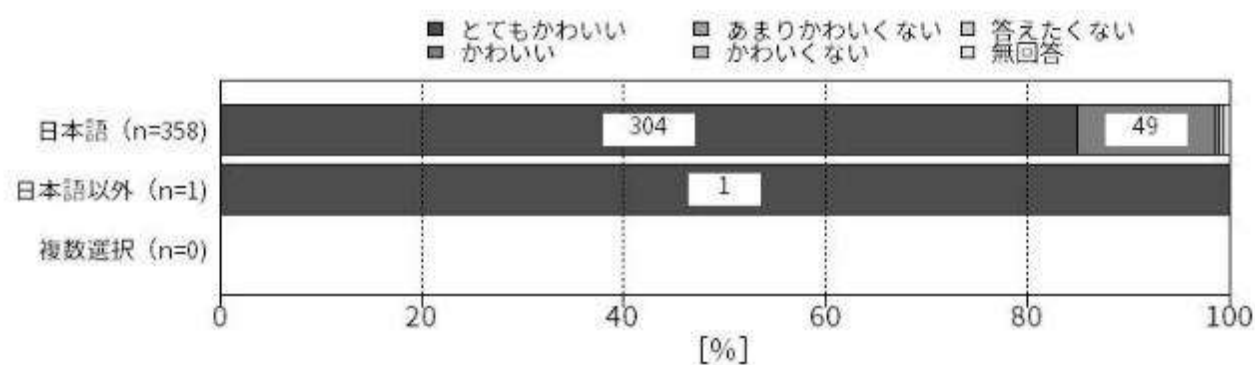
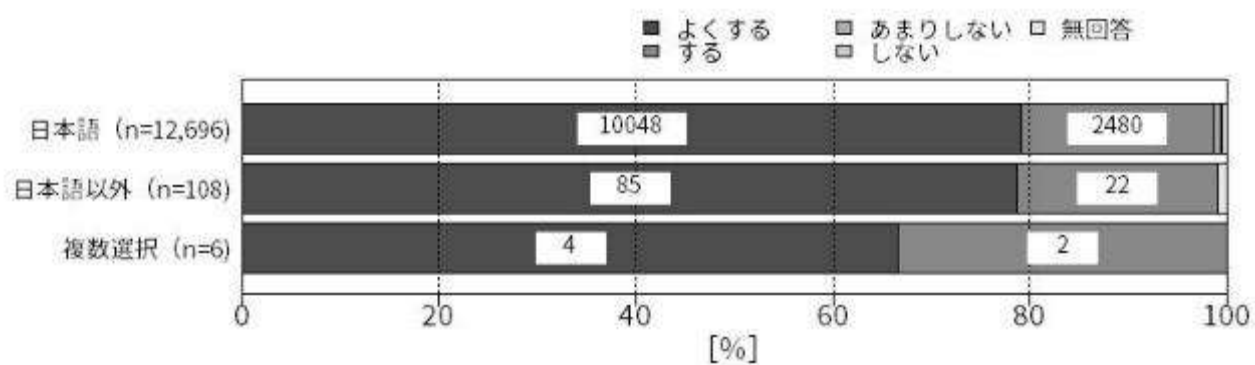


図 154. 母国語別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問２×問３１-２）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

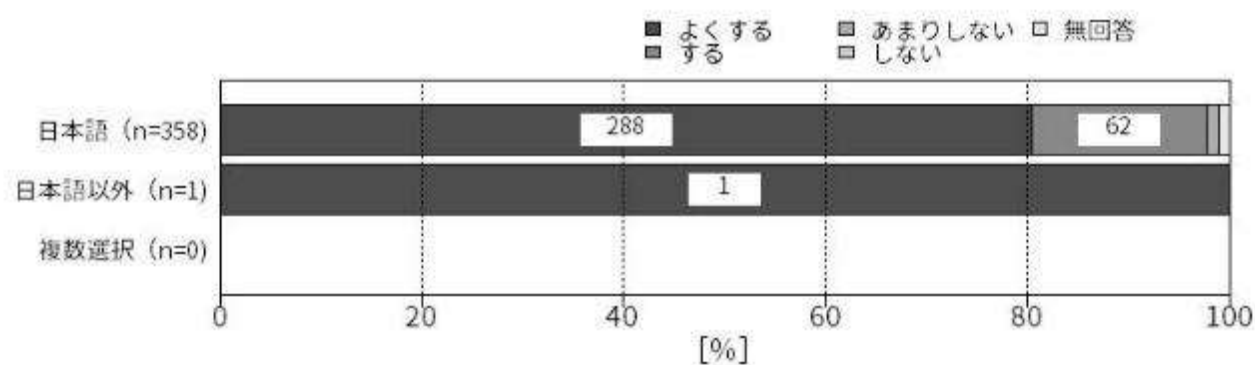


図 155. 母国語別に見た、子との関係（２）子どもと会話

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）（問２×問３１-３-平日）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

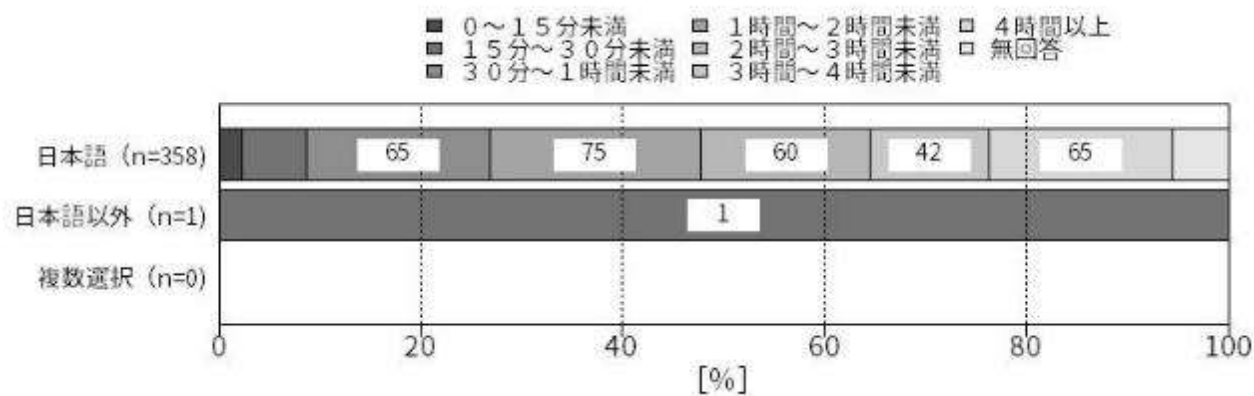
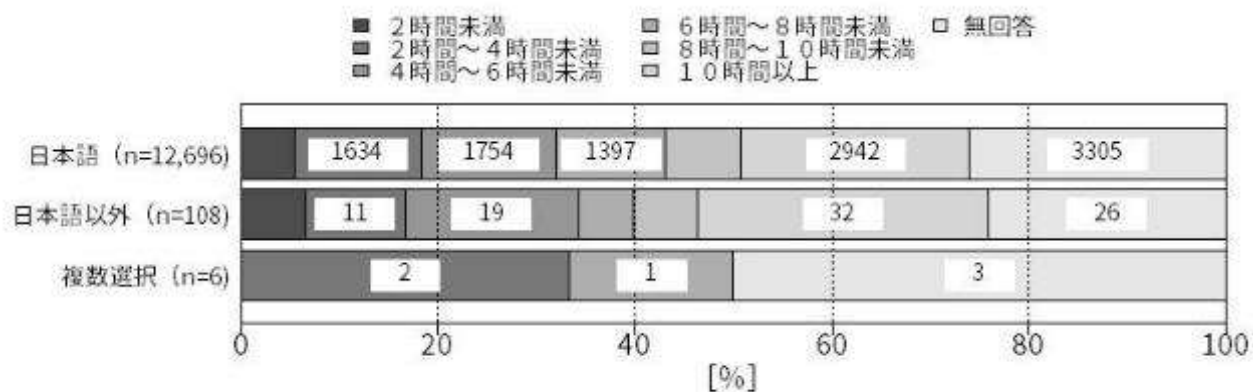


図 156. 母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）（問２×問３１-３-休日）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

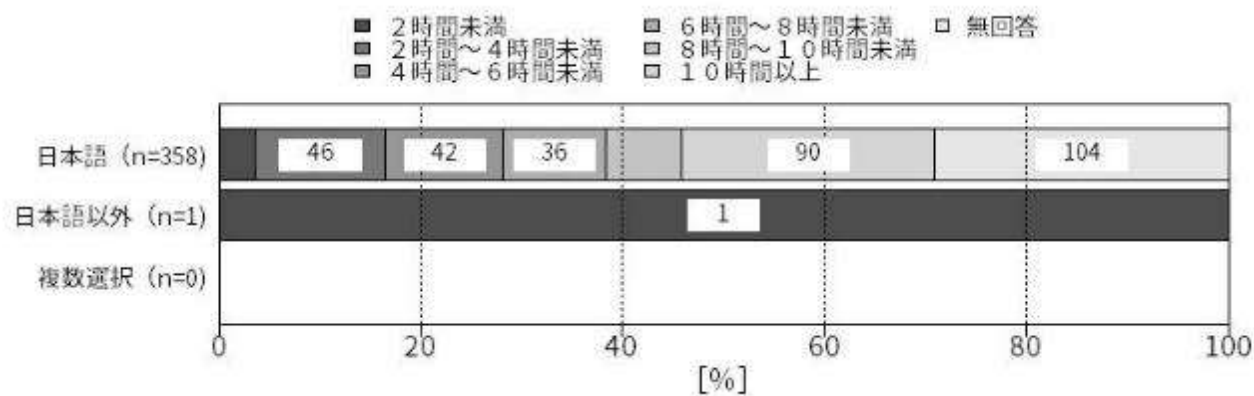
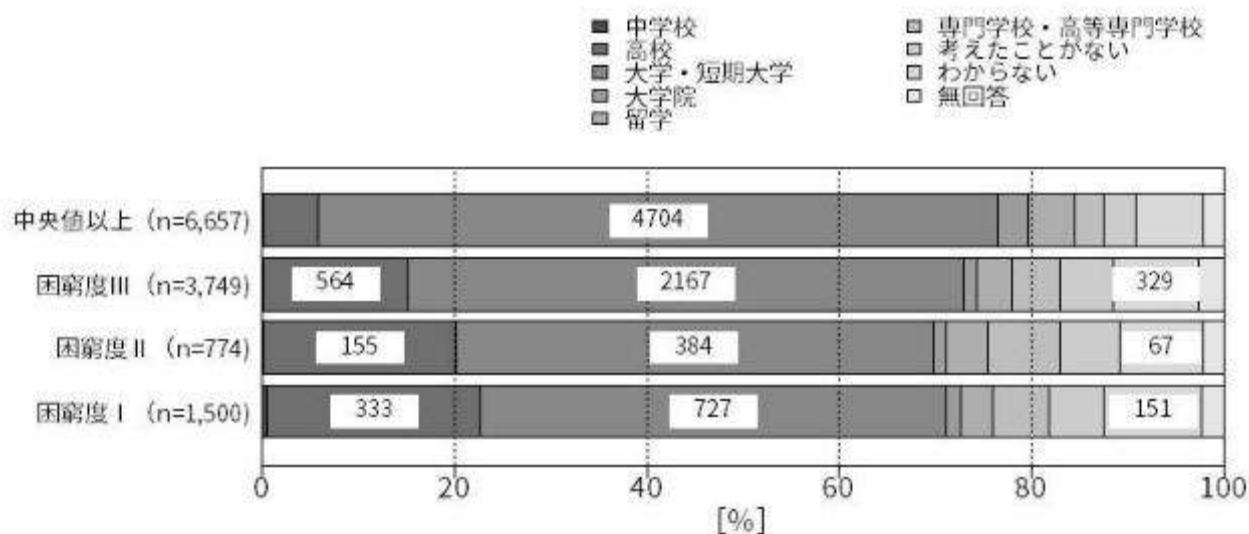


図 157. 母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、子の進学先希望（問 32）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

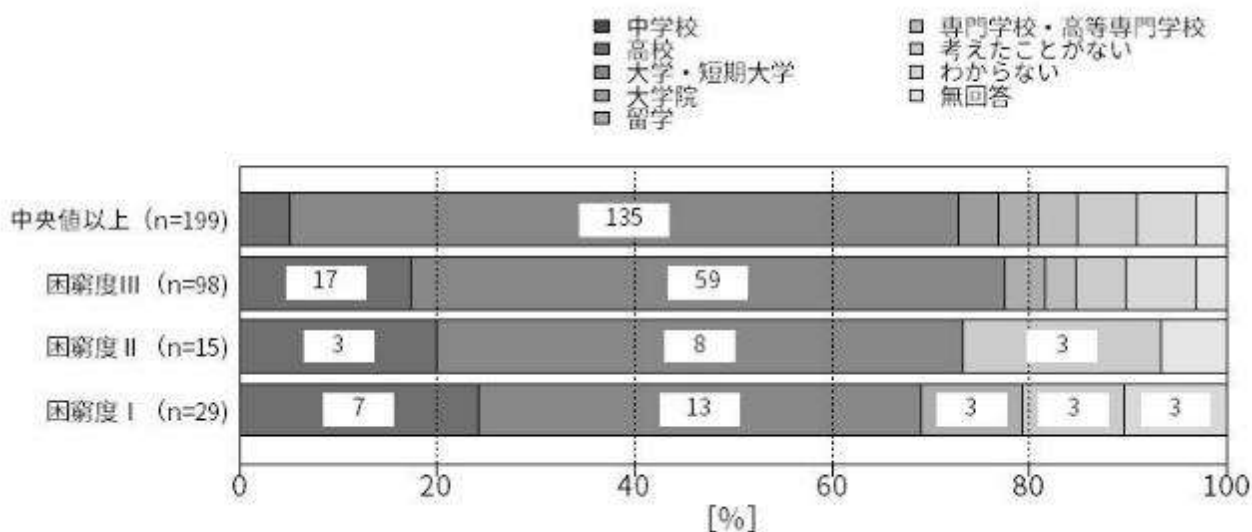


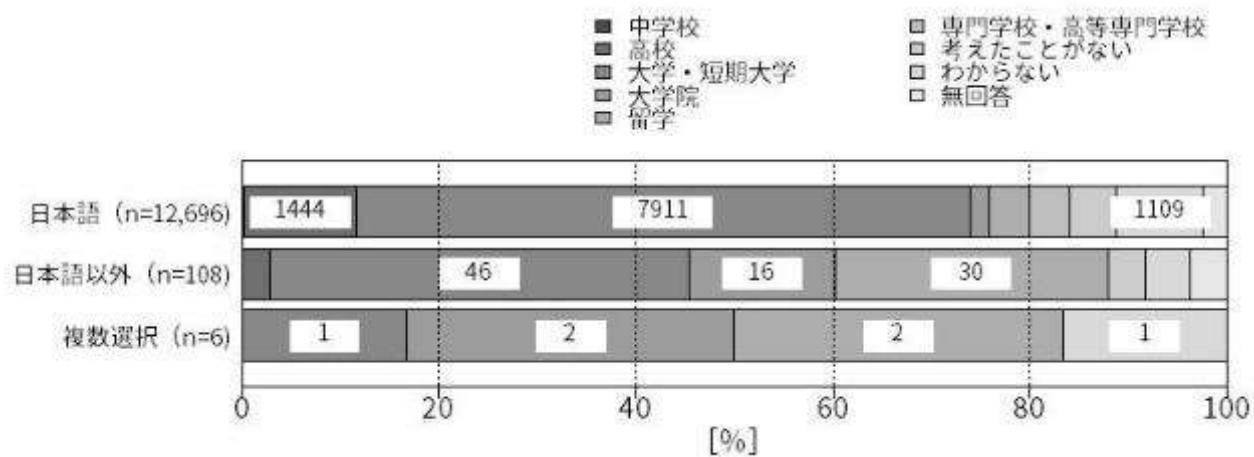
図 158. 困窮度別に見た、子の進学先希望

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が高くなるにつれ、子どもの進学先を「高校」までと希望する割合が多くなっている。「高校」までと回答した割合は、中央値以上群では 5.0%であり、困窮度Ⅰ群では 24.1%だった。

母国語別に見た、子の進学先希望（問 2×問 32）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

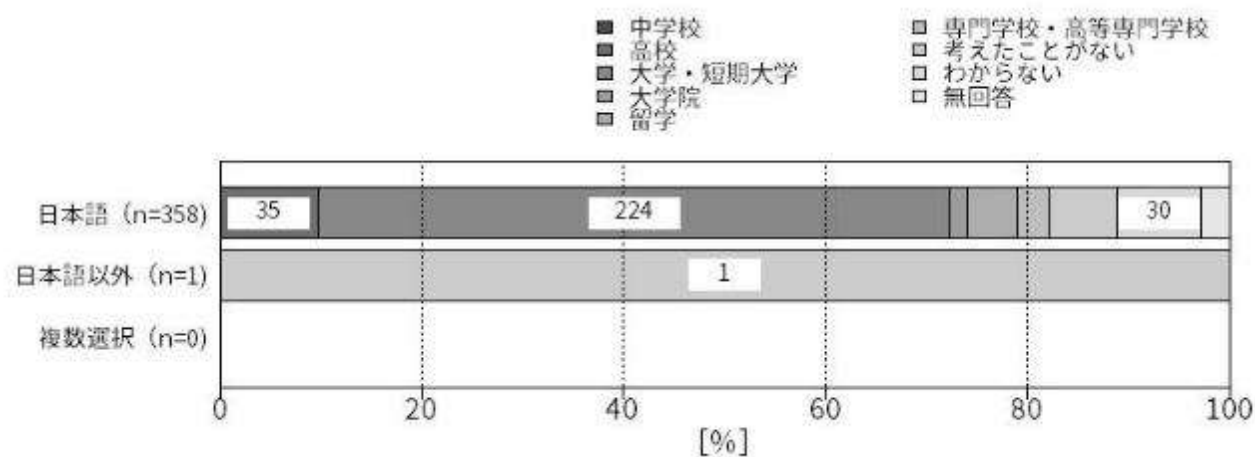
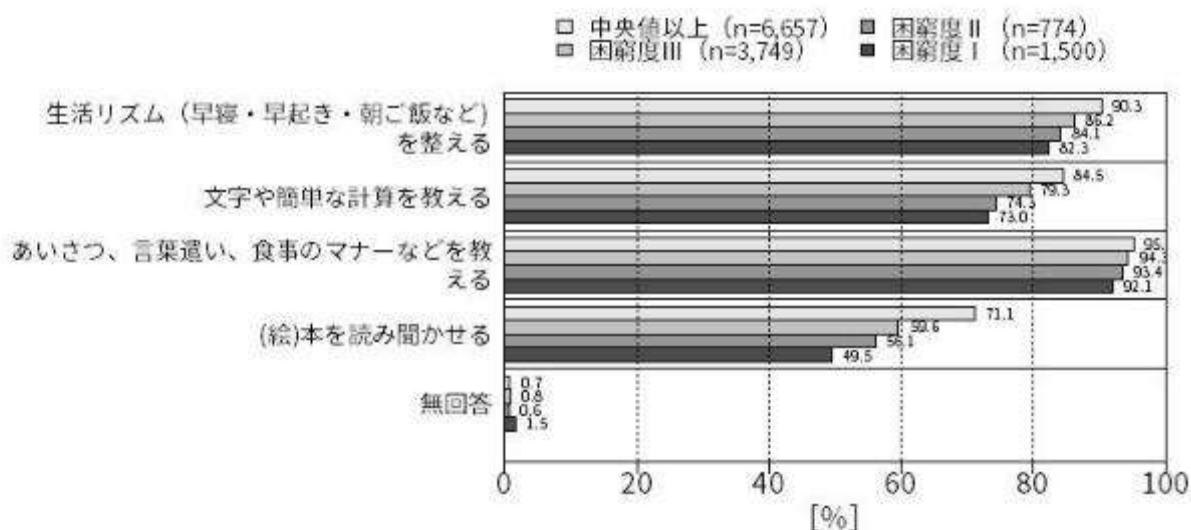


図 159. 母国語別に見た、子の進学先希望

日本語以外を母語とする人は少なかったため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、しつけ（問 30）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

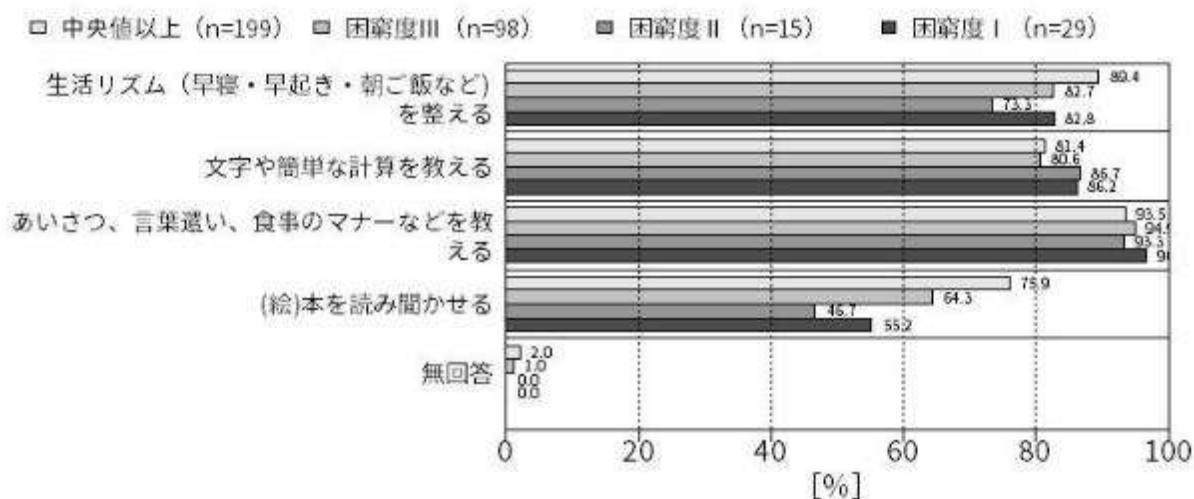


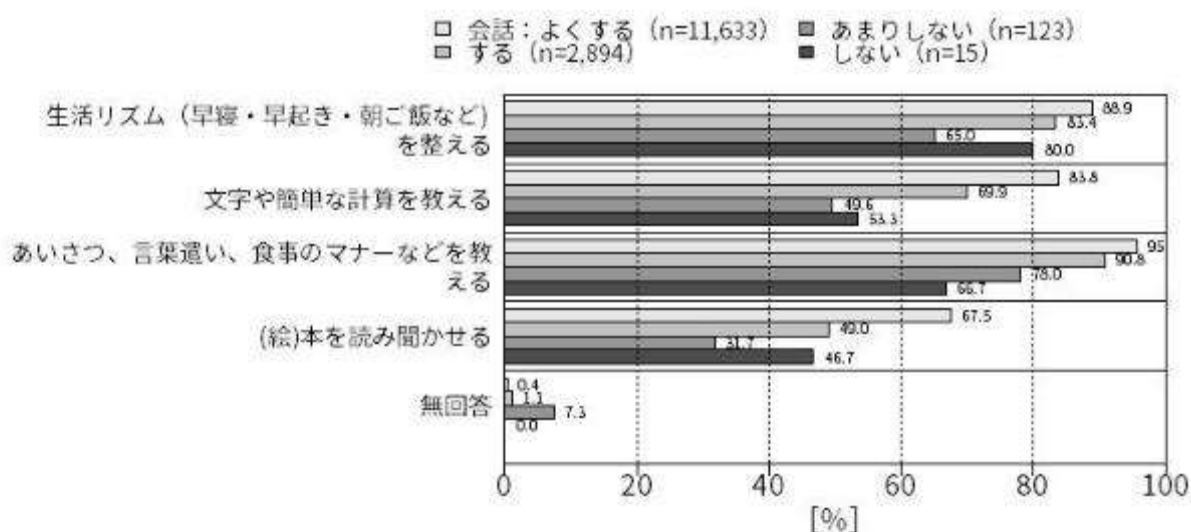
図 160. 困窮度別に見た、しつけ

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が高くなるにつれ、子どもに対してしていることについて「（絵）本を読み聞かせる」と回答した割合は、中央値以上群では75.9%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では55.2%だった。「あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える」と回答したのは困窮度Ⅰ群では高かった。

会話の頻度別に見た、しつけ（問 31×問 30）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

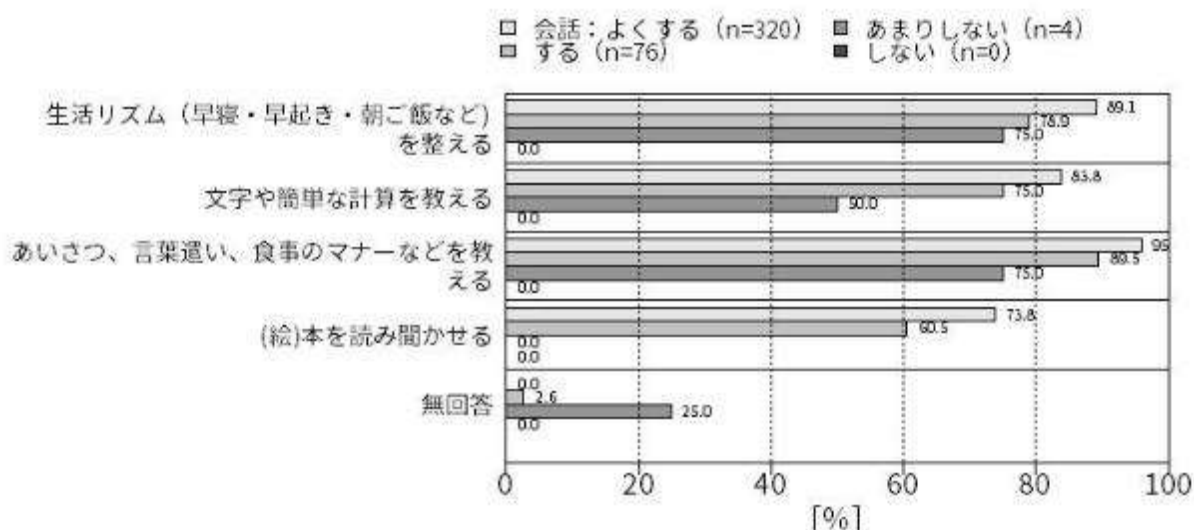
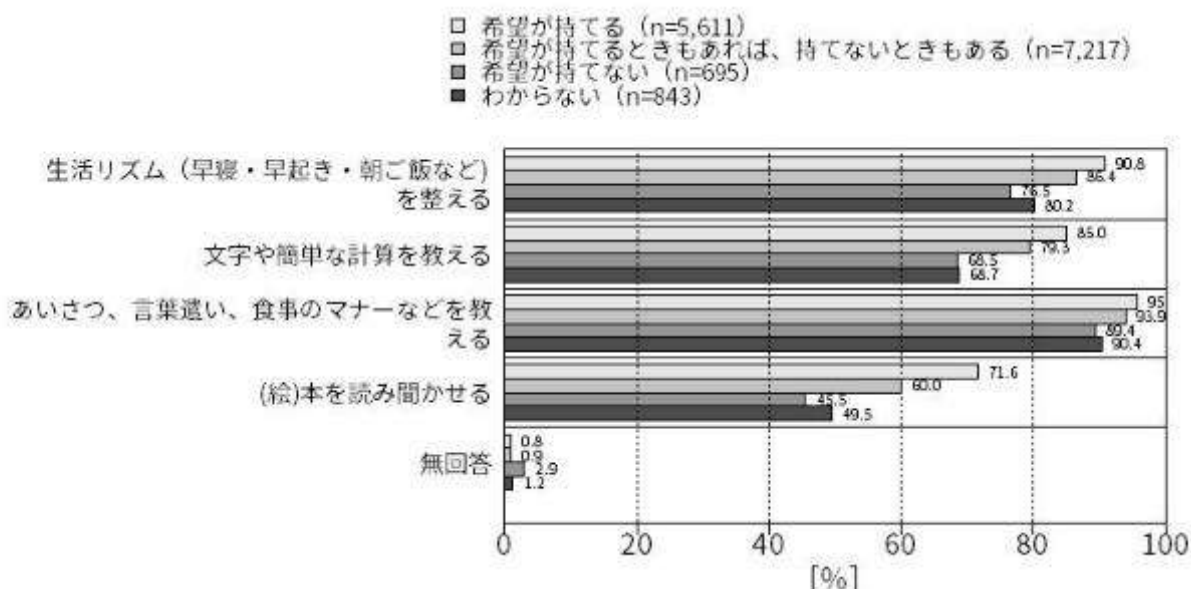


図 161. 会話の頻度別に見た、しつけ

会話の頻度別に子どもに対するしつけについて見ると、会話をよくする群では「生活リズム（早寝・早起き・朝ごはんなど）を整える」と回答した割合は 89.1%、「文字や簡単な計算を教える」と回答した割合は 83.8%、「あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える」と回答した割合は 95.9%、「（絵）本を読み聞かせる」と回答した割合は 73.8%であった。

回答者の将来への希望別に見た、しつけ（問 36-2×問 30）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

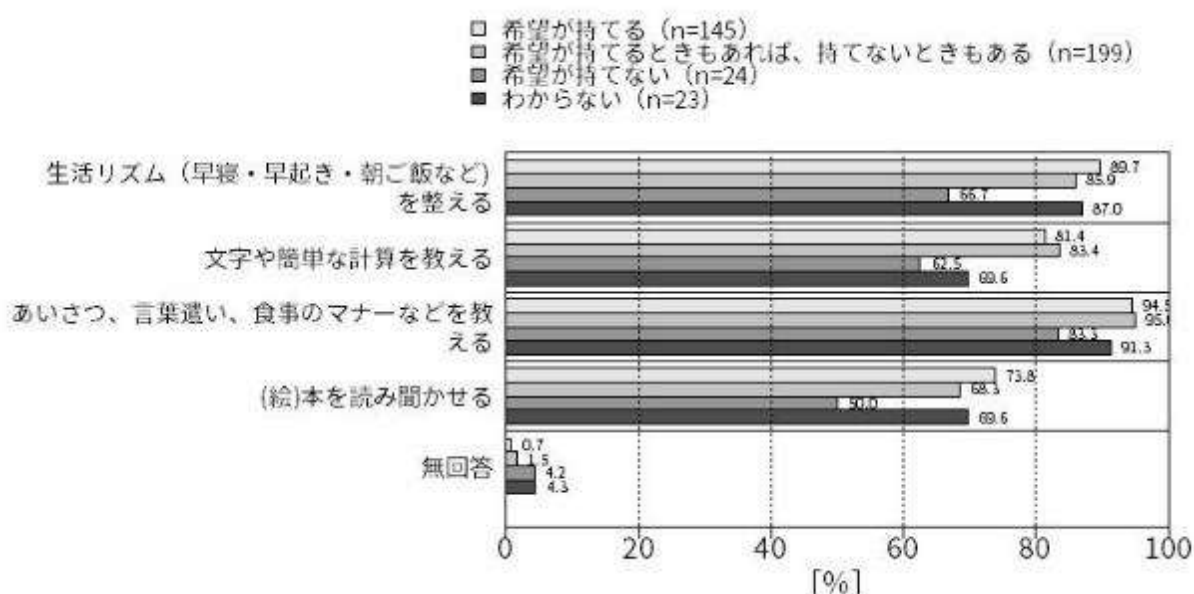
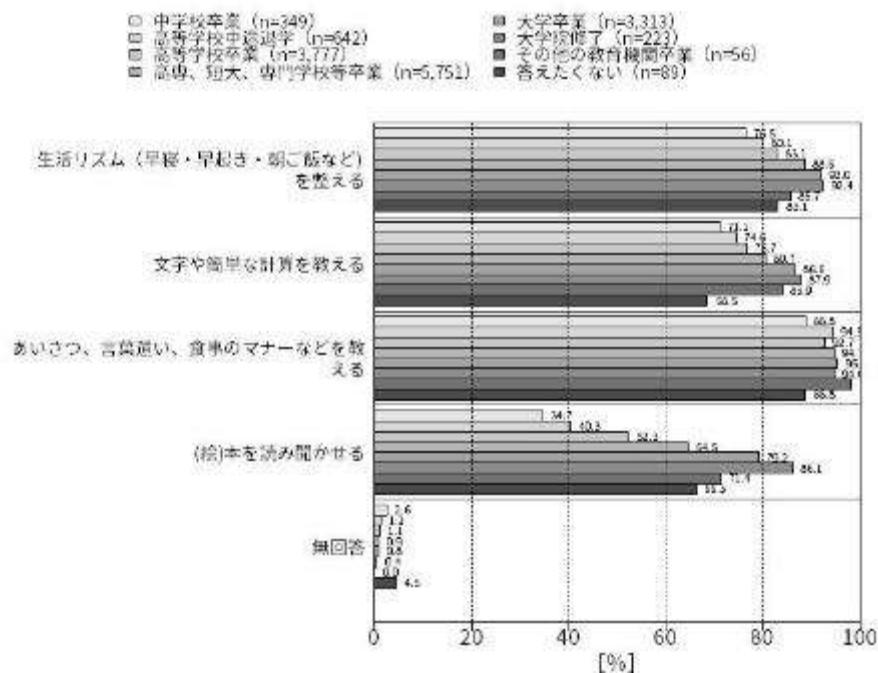


図 162. 回答者の将来への希望別に見た、しつけ

将来への希望別に子どもに対するしつけについて見ると、「生活リズム（早寝・早起き・朝ごはんなど）を整える」と回答した割合は、希望が持てる群では 89.7%であったのに対して、希望が持てない群では 66.7%だった。「文字や簡単な計算を教える」と回答した割合は、希望が持てる群では 81.4%であったのに対して、希望が持てない群では 62.5%だった。「あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える」と回答した割合は、希望が持てる群では 94.5%であったのに対して、希望が持てない群では 83.3%だった。「（絵）本を読み聞かせる」と回答した割合は、希望が持てる群では 73.8%であったのに対して、希望が持てない群では 50.0%だった。

母親の最終学歴別に見た、しつけ（問 7×問 30）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

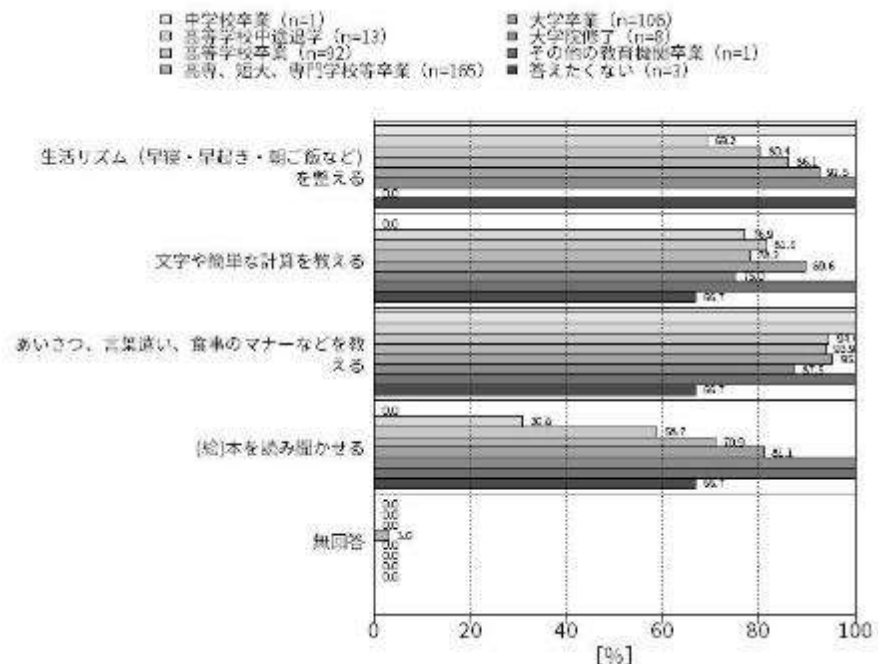
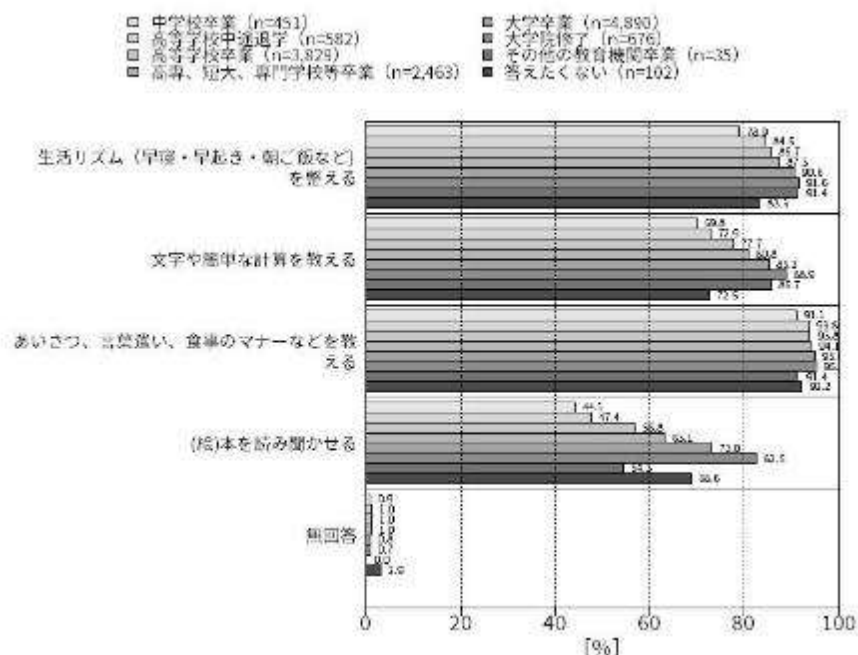


図 163. 母親の最終学歴別に見た、しつけ

母親の学歴が中学校卒業群の該当者が少ないため、傾向を述べる事ができない。

父親の最終学歴別に見た、しつけ（問 7×問 30）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

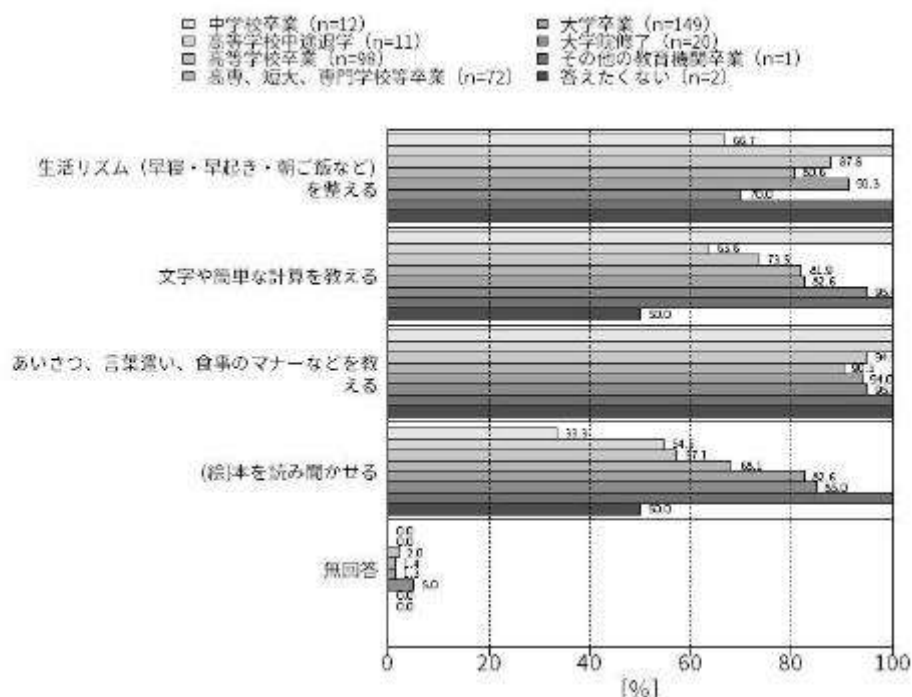
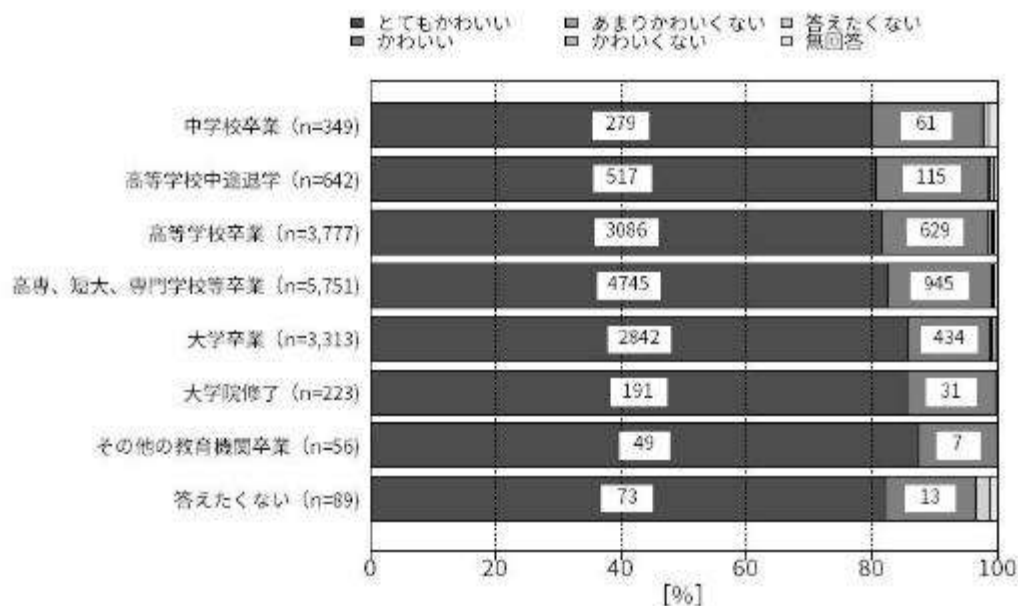


図 164. 父親の最終学歴別に見た、しつけ

父親の学歴が高くなるにつれて、子どもに対してしているの割合は高くなる傾向が見られ、「文字や簡単な計算を教える」「（絵）本を読み聞かせる」については特に顕著であった。父親の学歴が中学校卒業群では、「生活リズム（早寝・早起き・朝ごはんなど）を整える」と回答した割合は 66.7%、「文字や簡単な計算を教える」と回答した割合は 100.0%、「あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える」と回答した割合は 100.0%、「（絵）本を読み聞かせる」と回答した割合は 33.3%であった。

母親の最終学歴別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問 7×問 31-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

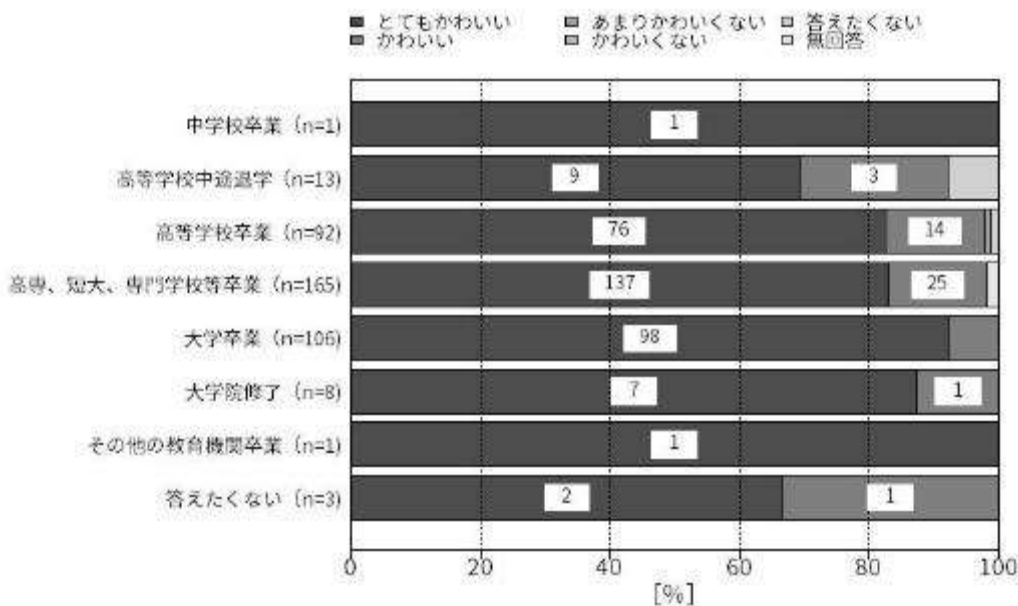
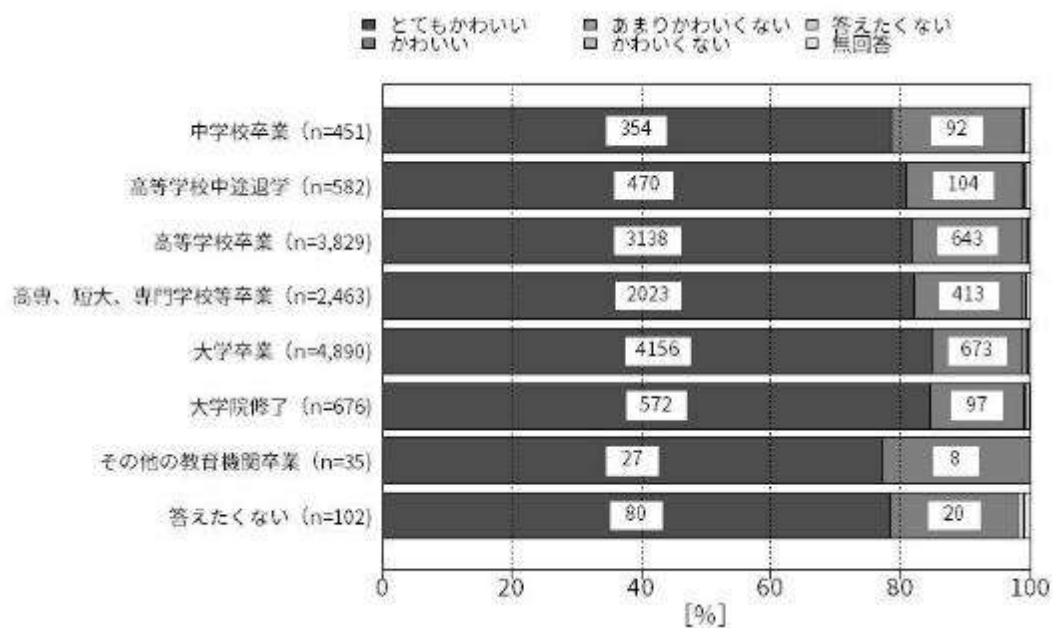


図 165. 母親の最終学歴別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか

母親の学歴が高くなるにつれて、子どもを「とてもかわいい」と思う割合は高くなる傾向にあった。

父親の最終学歴別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問 7×問 31-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

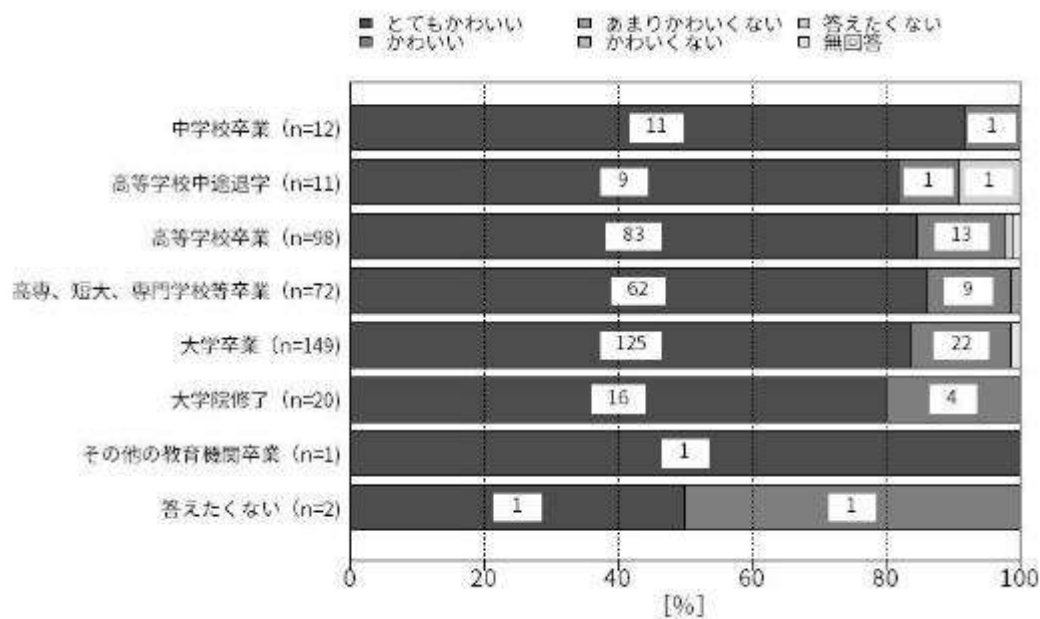
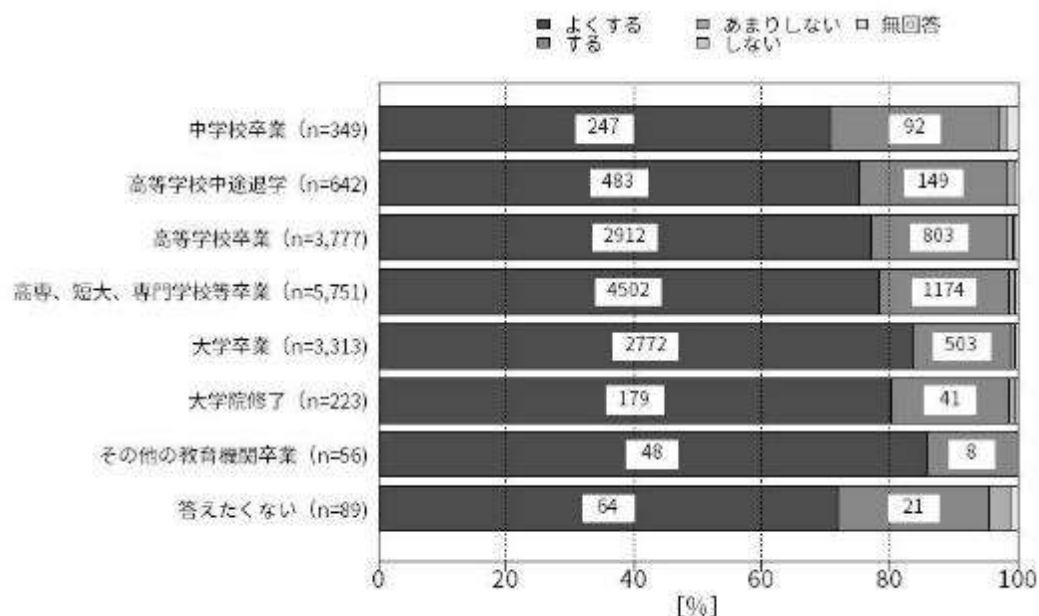


図 166. 父親の最終学歴別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか

父親の学歴によって、子どもをかわいいと思うかについて大きな差は見られなかった。

母親の最終学歴別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問 7×問 31-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

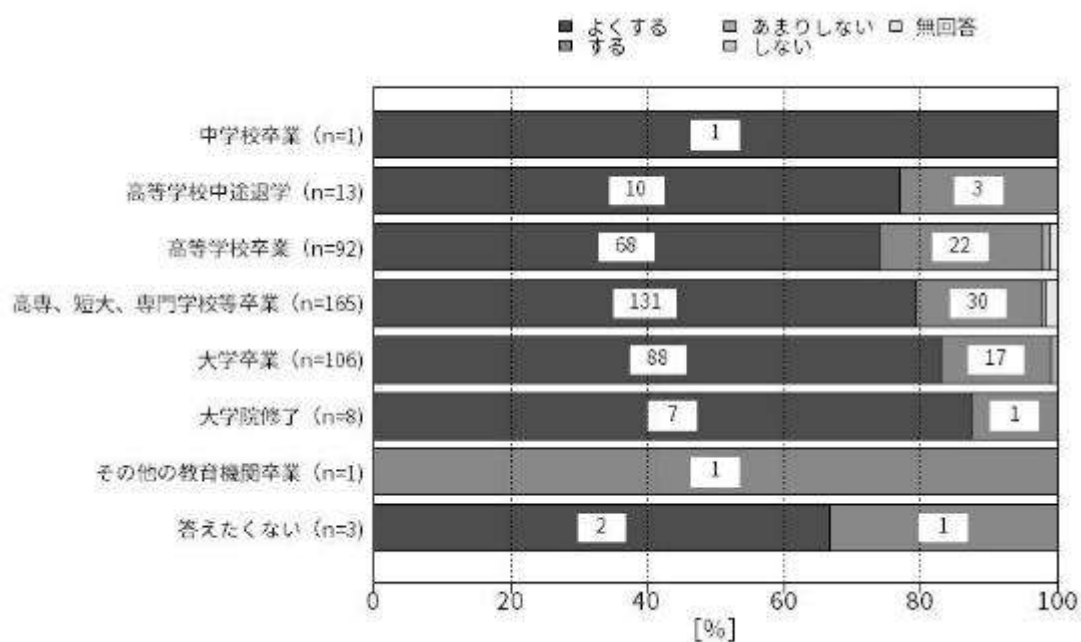
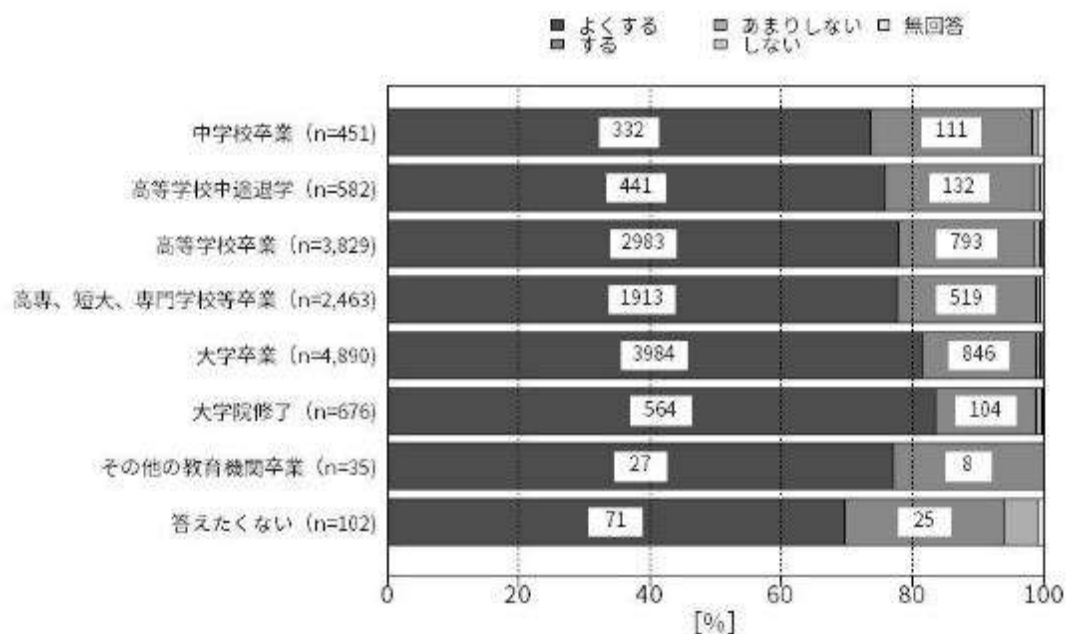


図 167. 母親の最終学歴別に見た、子との関係（２）子どもと会話

母親の学歴が高まるにつれて、会話を「よくする」割合は高くなった。

父親の最終学歴別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問 7×問 31-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

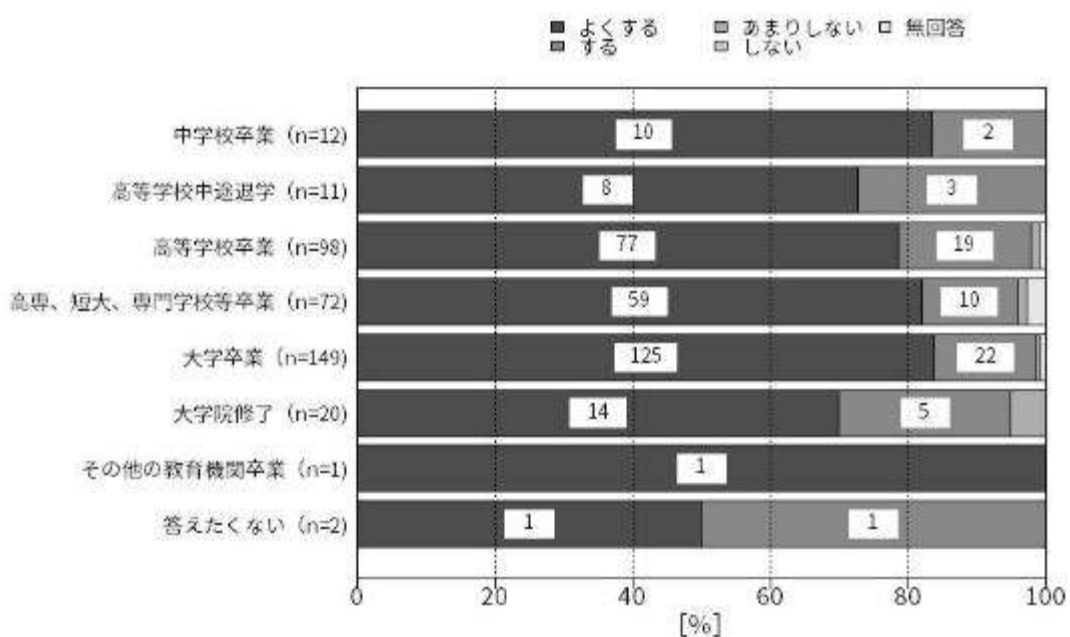
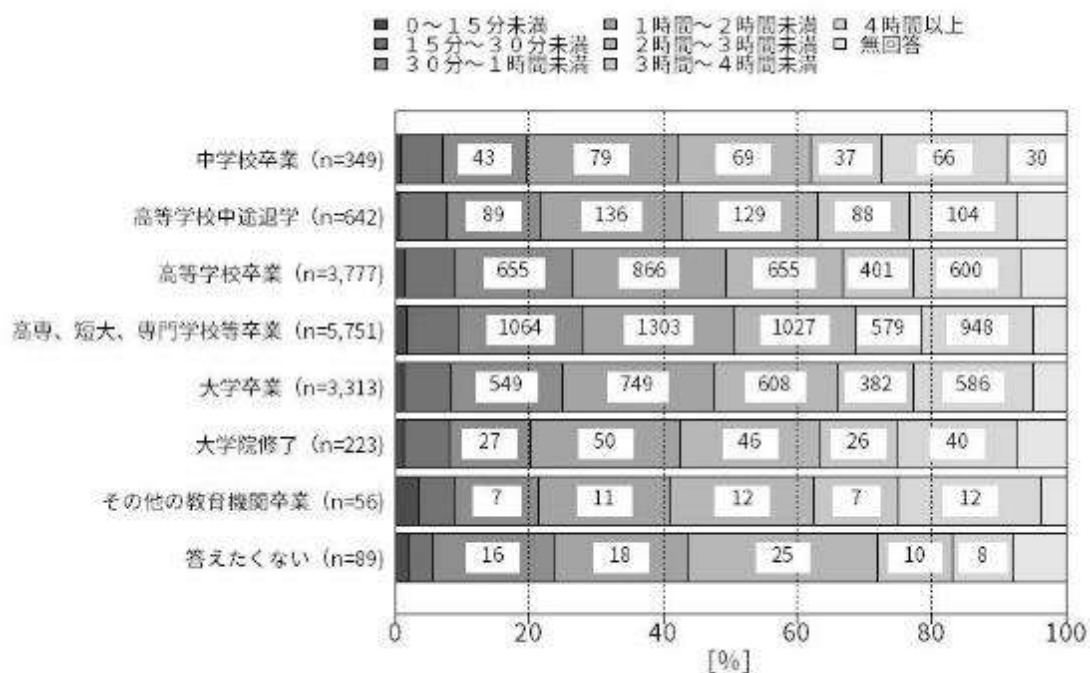


図 168. 父親の最終学歴別に見た、子との関係（２）子どもと会話

父親の学歴が高まるにつれて、会話を「よくする」割合は高くなった。

母親の最終学歴別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）
（問 7×問 31-3-平日）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

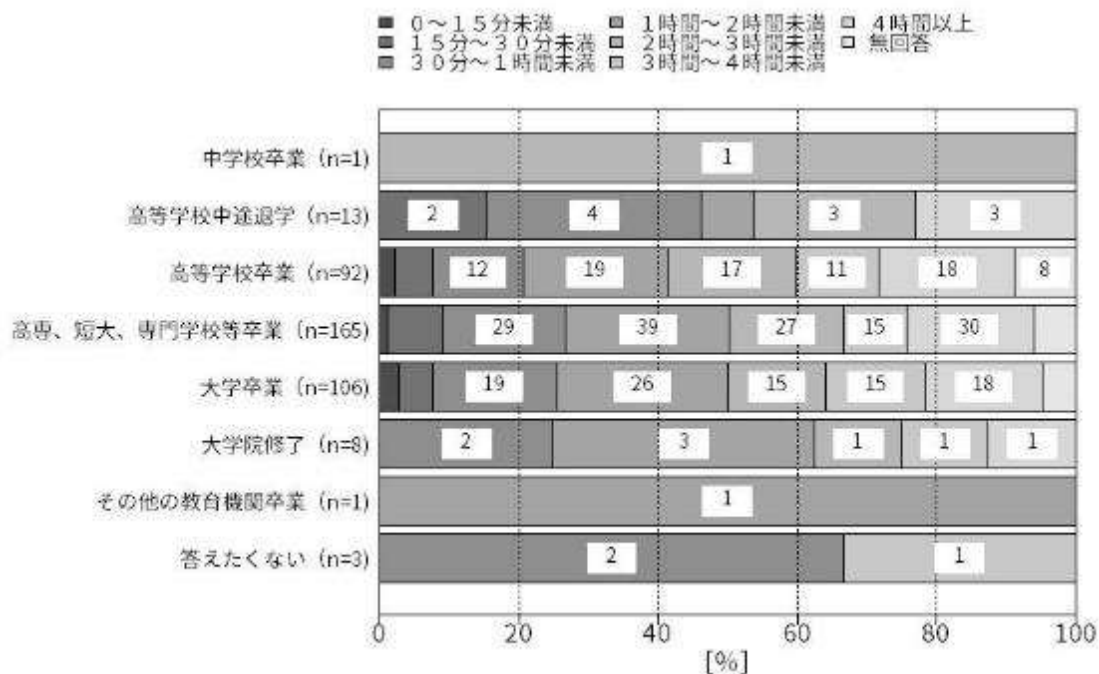


図 169. 母親の最終学歴別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）

母親の学歴と子どもと平日一緒にいる時間に関係は見られなかった。